



テーマ:『ロータリーを祝おう』CELEBRATE ROTARY
100年 飛躍年 さらなる飛躍の100年をめざして!

帯広ロータリークラブ 創立70周年記念マーク・テーマ



テーマ:『輝く年輪 我が大地』

デザインコンセプト
は躍動感ある若々し
い力強さと、未来への
飛躍を願い、年輪を積み重
ね素晴らしい歴史と伝統に培
われた、偉大なる時代から次代
へと繋がる、無限大を背景として
周年数の70を中心配置し、未永く
肥沃な我が大地、十勝帯広に根差す。

表紙は、帯広市のシンボル、
黒百合・ひばり・白樺の写真で
デザインしました。

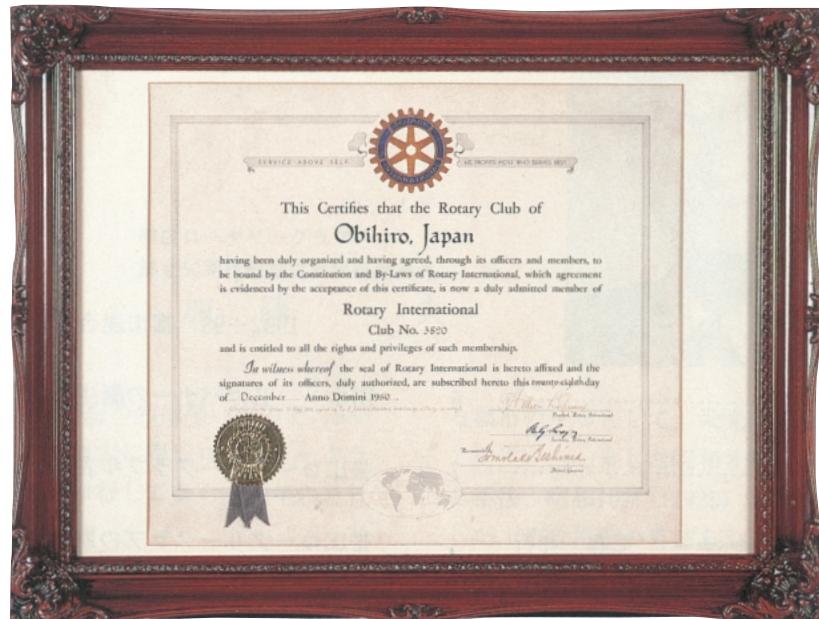
写真提供 / 帯広百年記念館

CONTENTS

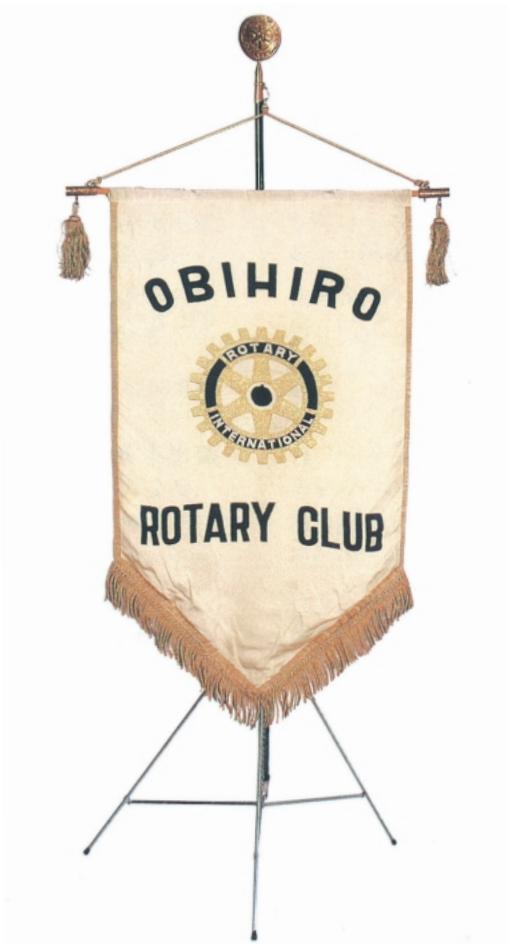


認証状、会旗、バナー	001
70周年記念グラビア	003
70周年記念式典式辞	011
70周年記念式典挨拶	012
70周年記念式典祝辞	013
2004 - 2005 RI 第2500地区ガバナー	013
実行委員長 鈴木 樹	011
会長 合田 修	012
2004 - 2005 RI 第2500地区ガバナー 牧野 了泰	013
帯広市長 砂川 敏文	014
札幌ロータリークラブ会長 松本 僚三	015
帯広商工会議所会頭 岩野 洋一	016
帯広ロータリークラブ70年のあゆみ《ダイジェスト》	017
帯広ロータリークラブ70年のあゆみ《年度別》	025
帯広ロータリークラブ周年記念行事一覧	053
主催行事	057
1995～1996国際ロータリー第2500地区協議会	057
1995～1996国際ロータリー第2500地区会長エレクト研修セミナー	058
1999～2000国際ロータリー第2500地区第6分区都市連合会	059
2002～2003国際ロータリー第2500地区第6分区都市連合会	060
国際ロータリーガバナーの思い出	061
歴代会長の思い出	063
70周年記念特集	072
スナップ写真	073
式典プログラム	081
懇親会プログラム	082
祝電名簿	083
御来賓名簿	084
登録者名簿	085
実行委員会組織	089
物故会員名簿	091
会員のことば	095
帯広ロータリークラブ年表	115
帯広ロータリークラブ在籍会員一覧	127
帯広ロータリークラブ会計統計一覧	139
帯広ロータリークラブ歴代会長・ガバナー一覧	145
編集後記	147

●●● 認証状 ●●●



●●● 会旗 ●●●

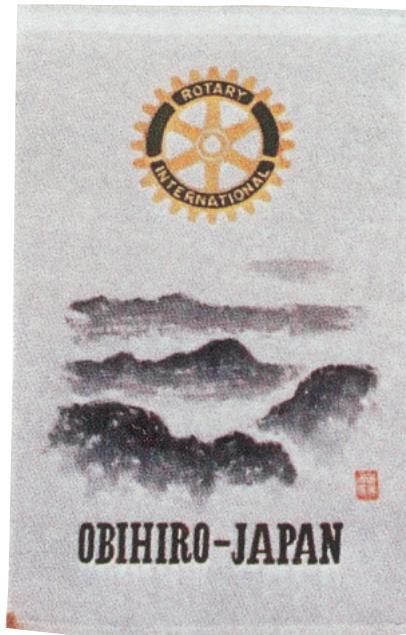


●●● バナー ●●●

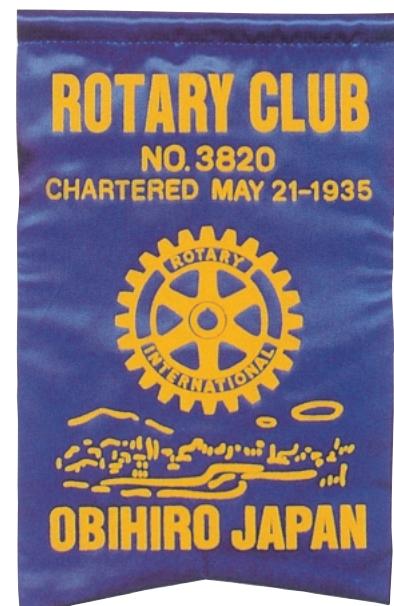
現バナー 平成 7 年 3 月制定



昭和38年当時のバナー



平成 7 年 2 月までのバナー



70周年記念式典

日時：2005年3月6日（日）午後1時～
会場：とかちプラザ／レインボーホール



歓迎の言葉
/ 合田会長



主催者

来賓



70周年記念式典



式辞 / 鈴木実行委員長



物故会員追悼



祝辞 / RI第2500地区牧野ガバナー



砂川帯広市長



札幌RC / 松本会長



スポンサークラブ札幌RCへ感謝状盾贈呈



帯広市へ記念事業目録贈呈



記念事業発表 / 高橋記念事業委員長



帯広市より感謝状をいただく

70周年記念式典

日時：2005年3月6日(日) 午後1時～

会場：とかちプラザ／レインボーホール

功績賞盾贈呈



左から 高橋(標)元会長、柴田元会長、矢野元会長、白石元会長、鈴木元会長、林元会長、真鍋元会長、高橋(勝坦)直前会長



藤森元会長



大須賀元会長



閉式の言葉 / 高橋副実行委員長



諸事お知らせ / 片所SAA

70周年記念事業(消防指揮車贈呈)

日時：2005年3月6日(日)
会場：とかちプラザ／アトリウム



エンジンキーの受け渡し / 合田会長より砂川市長へ

帯広市消防署幹部



進行 / 高橋記念事業委員長



「始動！」



70周年記念講演(公演)

音楽は
世界に通ずる ただ一つの言葉
 いや せんりつ
「癒しの旋律」
 トーク & フルートコンサート

記念講演

日時 / 2005年3月6日 14:30
 会場 / とかちプラザ(レインボーホール)



フルート奏者
山形 由美 先生

Yumi Yamagata / Flute

プロフィール

東京都出身 / 四歳よりピアノ、バイオリン等の音感教育を学ぶ 東京芸術大学音楽学部器楽科にてフルートを専攻 卒業後英国留学 世界的に有名なゴールウェイ氏の数少ない弟子のひとり 1986年ファーストアルバムをリリース ソロ活動に加え日本フィル、新日本フィル、札響等々全国主要オーケストラとの共演 1995年5月「神戸クラシックエイド」にてロリン・マゼール指揮、ピツィバーグ交響楽団との共演で3000人を魅了 演奏活動10周年には意欲的なプログラムによる全国17ヶ所でリサイタル・ツアーを展開し話題に ロンドン室内オーケストラ、ベルリン室内管弦楽団等の海外オーケストラと共に演奏を重ね、特にイ・ムジチ合奏団とはたびたび共演。現在TVやラジオ等の音楽番組でレギュラーとしても活躍中。



講師紹介
 / 川上副実行委員長



お礼の言葉
 / 鈴木実行委員長

70周年記念講演(公演)



祝賀会



挨拶 / 合田会長



開会宣言
/ 和田祝賀会委員長



挨拶 / 柴田ガバナー補佐



乾杯 / 岩野会頭



合田会長登壇



祝賀会



郷土芸能「平原太鼓」の皆さん



合田ガバナーエレクトご夫妻



星屋会長エレクト



アトラクション／バルーンドロップ



チアリーディング「有沢真美子とレッドダイヤモンズ」の皆さん



万歳三唱 小船井パストガバナー（中央）

70周年記念式典式辞

創意・無限、我が帯広ロータリー

帯広ロータリークラブ 創立70周年記念実行委員会

委員長 鈴木樹



夢と希望に満ちた、弥生三月… 我が肥沃な大地、十勝帯広に微風が優しく流れ、街行く人々の足取りも何か軽やかさを感じます。窓辺から差し込む陽炎にそっと手を差し

伸べ、平穏な日々に感謝しつつ、本日帯広ロータリークラブ創立70周年記念に際し、各界の皆様よりご理解とご協力を賜りました事、お礼の言葉もございません。誠に有り難うございました。

我がクラブの70年もの歴史の背景は、1932年の札幌、33年の小樽、34年の函館、旭川、そして35年に我が帯広ロータリークラブが創立され、日本では16番目、道内におきましては5番目に誕生させた、我等の先達の勇気ある行動とその先見性に感動を覚えます。今迄多くの先輩が築いてこられた、我がクラブの伝統と実績を大事に継続していきたいと、現会員109名は日々自覚し、クラブ運営を致して参りました。

更に私たちのクラブは如何に有るべきか、積極的な参加意識とチームワークを信じ合い、ロータリアンとしてロータリークラブの定める、あらゆる奉仕活動を通じ、提言や発言に耳を傾け、個人・事業・社会への積極的な取り組みを常とし、志を共にする同胞として、参加意識・意義の向上を図りたいと願っております。結果、会員の全てが優れた指導者で有りたいと云う事、各々が力一杯可能性を伸ばせるよう、個々が個々を尊び、目標を見定め、円滑な活動に寄

与し、会員の全てが自覚し目指していますし、信じております。

それには適切な環境づくりや、互いを認めボーダレスなチームワーク、マイナス思考である非難、非望、否定を排除し、温故知新に学び、建設的な変革と思考、率直な交流の推進、ロータリアンとしての基礎である原則と価値の見直し…等々、世界のロータリアンが私たちと並び、建設的変革を担い、共にロータリー物語をより良く書き直している事を深く自覚し、今後の大いな糧へと願って止みません。今や世界の国と多くの地理的地域に32,000を超すクラブと約122万人のロータリアンの手により、世界中にその活躍は展開し、実践的に奉仕クラブの運動を100年にも渡り、継続している事実に、私は一端に携わる者として誇りすら感じております。

明日のロータリーの地位向上を図るため、倫理的原則と道徳的価値を元にした実践こそが魅力的なロータリーの根幹と位置付けられます。我が帯広ロータリークラブの担う責任と使命も日々年々増大し、時代と共に歩んでこられた、先人の豊かな経験と知恵を今の時代にどのように增幅し、新世紀を築いて行くのか、当事者である私たちに与えられた、試練であり、義務でもございます。私の好きな言葉に「権利と義務は表裏一体成り…」と言う言葉がございます。社会生活の中では権利だけでも、義務だけでも成り立ちません。激動の今こそ、ロータリーの徽章、歯車が象徴する奉仕の道の意味する、歯車一つ一つが確りと噛み合い、それを最高度に実践して見せる時です。夢は実現に転化すると私は信じて止みません。帯広ロータリークラブ創立70周年記念に寄せ、ご挨拶と致します。

歓迎の挨拶

国際ロータリー第2500地区第6分区 帯広ロータリークラブ

会長 合田 修



春の陽射しが
眩しく、何処ま
でも果てしない
青空に小鳥達が
舞い踊り緑の若
葉が芽吹く頃、
我が故郷十勝野
にも希望に満ち
た季節の到来と
なりました。

本日帯広ロータリークラブ創立70周年記念式典を挙行するにあたり、多くの皆様より温かいご理解とご協力を賜りまして、衷心より御礼を申し上げる次第でございます。又、この式典に花を添えて頂きました国際ロータリー第2500地区ガバナー牧野了泰様並びに歴代のパストガバナーの皆様、砂川敏文帯広市長を始め多くのご来賓各位、そして地区内外から多数のロータリアン諸兄のご参加を頂き、かくも盛大なる記念式典を開催出来ます事は、帯広ロータリークラブ会員一同誠に大きな慶びであり、心から歓迎申し上げる次第であります。

帯広ロータリークラブの70年もの歴史は、日本ロータリーの草創期に勇気ある先達の高い意識と卓越した先見性、そして当時市制が施行されて間もない郷土に対する深い愛情によって幕を開ける事となりました。時に1935年、日本で16番目、北海道内で5番目に誕生した我がクラブは、以来先人の努力と奉仕の精神が連々と継承され、ロータリーの奉仕の理想のもとに今日まで時を刻んで参りましたが、クラブ誕生の時を偲び、この歴史と伝統を顧み、ここに創立70周年記念式典を開催出来ました事は、会員一同

この上ない感激と感謝の念で思わず胸が熱くなるのを禁じ得ません。

この間、私達は会員相互の親睦の中で育まれた信頼感と積極的な奉仕活動への参加意識を絶やす事なく、志を共にする同胞として自己の職業に於ける高い倫理水準を目指し、地域社会からの提言に耳を傾け、必要なニーズの把握に努め、更に全世界へ向かっての人道的な支援に取り組んで参りました。今や世界166ヶ国に約32,000のクラブと122万人のロータリアンによって地球の隅々にまでロータリー活動が展開されています。然しながら100年にも及ぶロータリー物語が常に書き変えられてきた様に、時代の変遷と共に山積された多くの難問は、今後益々幅広い奉仕活動の実践をロータリーへ要請しているものと受け止めなければなりません。同時に帯広ロータリークラブの担う責任と使命も日々年々増大している事を意味し、それは私達に与えられた試練であると認識をしている処であります。私達は本日の記念すべき日を大きな節目として、これまで時代と共に歩んでこられた先人の豊かな経験と智恵を未来の「奉仕の理想」に継なぐ事が出来る様、そしてロータリーの徽章が象徴するロータリー精神の意欲を確りと実現出来る様行動して参る事を誓い、決意を新たにいたしておりますが、今後共当クラブに対しまして尚一層のご指導を賜ります様宜しくお願ひ申し上げます。

本日、ご臨席を賜りましたご来賓各位並びにご友情溢れるロータリアンの皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げ、歓迎の挨拶に代えさせて頂きます。

祝　辞

2004～2005年度国際ロータリー
第2500地区ガバナー 牧野了泰



季節は初春とはいえ、まだまだ寒い今日この頃であります。この度、帯広ロータリークラブにおかれましては、輝かしい創立70周年を迎えられました。心からお祝い申し上げその長い歴史に深甚なる敬意を表する次第であります。

札幌ロータリークラブをスポンサークラブとして、日本で16番目、地区2番目のクラブとして1935年、19名のチャーターメンバーにより発足された貴クラブは70年の歴史の中に、ロータリー精神の理念に燃えながらの活動を続けられました。しかし、途中、時代の変遷によりロータリー運動中止の苦難の時代を乗り越えられ、幾多の試練をへながら、今日109名の会員を擁する大クラブに発展されました。

地区内最大のクラブとして奉仕の灯を高く掲げ、常に地区の模範となる積極的な各種事業の展開実践は地域社会においても高く評価されている所であります。

また、地区ガバナーとして、西川義正氏、田中弘氏、田村昇市氏の三名のガバナーを輩出され、地区的発展に寄与された功績は衆目の一致するところであります。敬服の一言につきます。

ことのほか、ロータリークラブの拡大に積極的に取り組まれ、広尾ロータリークラブを第一番目に、そして矢継ぎ早に芽室、足寄、清水、上士幌RCと四年間で五つのクラブをスポンサーされ十勝一円にロータリーの灯を拡大されました。

また、奨学金制度を設立し、財団、米山記念奨学会にも積極的に貢献されました。これらの業績に対して、RIはじめ各種の表彰、感謝状等を受けておられますことは枚挙にいとまが在りません。

昨年はロータクト全国大会を sponsesされ、参加青年に深い感銘を与えられました。70年の輝かしい金字塔を築き上げてこられました会員各位のたゆまざる研鑽と実践にあらためて敬意を表する次第であります。

創立70周年記念事業として、消防防災活動の為の指揮車輌の寄贈、又、新図書館への図書購入費の寄付は市民生活の安全、文化の向上に大きく寄与するものであり、更には山形由美先生によるフルートコンサートは正に「癒しの旋律」と非常に意味深いものと感じ入ります。

どうぞ70周年を刻んだ地区名門クラブ、帯広ロータリークラブの栄えある歴史に、思い出深いページが加えられることにも心からお祝い申し上げます。

長年に亘りまして、奉仕の理想を推進、実現され、今まで大きな足跡を残してこられました。帯広ロータリーの皆さんに、重ねて心からなる敬意を表しますと共に、100周年を迎えた国際ロータリーの輝かしい歩みの中での「ロータリーを祝おう」の今日、70周年を迎えられましたことは、感激の極みと存じ『Wロータリーを祝おう』であります。心からさらなる祝意を表し、歓喜のご挨拶といたします。

Congratulatory address

祝 辞

帯広市長 砂川 敏文



国際ロータリー100周年の記念すべき年に、帯広ロータリークラブ創立70周年を迎えられましたことを、帯広市民を代表して心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、昭和10年に日本で16順位のクラブとして発足されたとお聞きしております。以来長きにわたり、会員の皆様の強い意志と情熱のもと、活発な奉仕活動を実践され、本市の発展にご尽力をいただいていることに対し改めて深く敬意を表します。

また、昭和40年には帯広駅前広場に「大地」の像を寄贈していただいたのをはじめとして、昭和57年の開拓100年市政施行50年の年には、百年記念館前庭に大ブロンズ像「大地と夢想」を市内3クラブ合同での寄贈、帯広図書館へ「ロータリー文庫」の寄贈など、貴クラブからは市政のみならず幅広くさまざまな分野に対して数々の貢献をいただいております。今回は創立70周年を記念して、消防防災活動のための指揮車両のご寄附をいただく運びとなり重ねて厚くお礼申し上げます。市民の安全と安心を守るため、消防防災活動に有効に活用させていただきたいと存じます。

さて、地方自治を取り巻く環境は、かつて経験したことがないほどの転換期を迎えて、様々なシステムが大きく変化しようとしてあります。これからは地方制度のみならず、地方自治のあり方そのものに変化をもたらす改革であると感じています。この流れは、市町村合併や道州制などの議論とともに、今後さらに加速され、住民に最も身近な市町村行政が果すべき役割が大きくなってくるものと考えています。広域行政の推進や北海道からの権限委譲など、分権時代に対応できる自治体としての基礎を出来るだけ早く固めなくてはならないと考えております。

また、そうした変革の時代だからこそ、市民一人ひとりが開拓以来培ってきたフロンティア・スピリットを糧に、十勝・帯広の持つ限りない可能性を活かし、持続的な発展の基盤づくりに取り組むことができる絶好の機会だと考えます。地域発展の可能性を秘めたさまざまな取り組みを、大切に支え育てていきたいと思います。

さらに、こうした取り組みの中で、市民の皆さんと問題意識を共有しながらまちづくりを進めていく「市民協働」の視点を大切にしていきたいと考えます。この「市民との協働のまちづくり」は、会員の皆さまが日ごろから実践されている活動の基本理念に通じるものであり、新しい時代においても、本市がさらなる発展を遂げるための大きな力になるものと信じております。

どうか、今後とも「田園都市おびひろ」が更に大きく飛躍できるよう、なお一層のご指導とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、帯広ロータリークラブの益々のご発展と会員の皆さんのご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

Congratulatory address

祝　辞

70年の輝かしい歴史を称えて

スponサークラブ
札幌ロータリークラブ会長 松　本　脩　三



帯広ロータリークラブ創立70周年の御慶事に札幌クラブを代表して参加させて頂き、大変光栄に存じます。2月の23日には、例会でR I の設立100周年をお祝いになられたばかりだと思いますので、たて続けに70周年の記念式典がありまして、実行委員や役員の皆様には御負担が多かつたのではなかろうかと拝察致します。

R I ができて15年後に東京クラブが出来、そのまた15年後の昭和10年に早くも帯広クラブが誕生したわけですので、当時としては非常に早かったように思います。その頃の帯広の人口が3万人とちょっとであったことを考えますと、日本で16番目にこの地にクラブができたと言うことは、北海道とか帯広そのものがロータリー哲学というものに少なくとも日本の中では適性が強かったからではないかと存じます。このことはそれ以来今日迄に亘って来られた帯広クラブの会員増強や、多彩な奉仕活動への御努力の中に如実に示されていると思います。奨学金育成事業にはとくに力を入れになり、ロータリー財団や米山記念奨学会の寄附額が極めて高額である許りでなく、帯広クラブ独自の奨学金制度を運営されている事もそのひとつだと思います。また創立を記念する年度毎に駅前広場の大地の像とか、彫刻の森あるいは大地の夢想のブロンズ像など、十勝に相応しいモニュメントを何度も寄贈してこられまして、敬服のほかございません。更に会員増強の面でも帯広市内に2つのアディショナルクラブの増設を始めとして、十勝原野にひろがる町村の中にも昭和37、38年頃に、広尾、芽室を始め5つの新クラブを立ち上げられた事も、他クラブの追随を許さない所でありまして名実共に2500地区の名門クラブと申すほかありません。

ここで話を70年前の昭和10年3月15日に戻しますが、帯広ロータリークラブの発会式には佐藤昌介札幌クラブ会長の代理として宮脇富幹事が出席しておられます。また今から丁度35年前の創立35周年記念式典には、同じく札幌クラブの植田会長の代理としてこの時は宮脇恒副会長がお祝いに参上しております。最初の宮脇富先生は後年、帯広クラブの会員にもなられましたので、皆様ご存知のとおりでございます。日本のロータリークラブが大戦後R I に復帰する事になった時にも、富先生が帯広に居られましたので帯広クラブの復帰には率先して仲介の役割を果たされたとお聞きしております。創立35周年のとき、帯広へおいでになった宮脇恒副会長は富先生の甥に当たる方ですので、帯広と札幌の両クラブの間には単にスponサークラブ言々のことのみではなく、日本におけるロータリーの最長老と言われた宮脇先生とその甥御さんを介してもいろいろな関係があったように思います。そのほかにも平成7~8年度にはたまたま2510地区と2500地区のガバナーがそれぞれ札幌クラブの西條正博さんと帯広クラブの田村昇市さんとであります、このときには西條さんが大変、田村先生にお世話になったと申しておられたことを覚えております。

今日のこの機会に当り、これからも末永く両クラブの親交が続きます事を願い、同時に又帯広クラブは道内の指導的クラブの最右翼としてますます良い刺激を私共に与えてくださることを心から御期待申し上げまして、創立70周年の御祝辞とさせて頂きます。

Congratulatory address

祝 辞

帯広商工会議所
会頭 岩野洋一



厳寒の冬を越え、大雪連峰の水の流れが十勝野に豊かさをそそぎ、大地が春を待つ弥生の季節、帯広ロータリークラブが創立70周年の記念すべき日を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。

帯広ロータリークラブの皆さんにおかれましては、昭和10年の創立以来、70年の永きにわたる努力と情熱による地域社会への奉仕活動に対し、心より敬意を表します。

さて、設立された昭和10年の帯広市の人口はわずか3万2千人でしたが、当時の渡部守治帯広市長、宮本富次郎帯広商工会議所会頭等の発起人やチャーターメンバーにより、国際ロータリーの認証番号3820を得て、日本で第16順位のロータリークラブとして誕生されました。

その当時の日本は世界恐慌の影響で深刻な不景気にみまわれ、満州を植民地化して危機を逃れようとした満州事変をきっかけとした軍閥の勃興と共に、反ロータリー政策が強化されました。ロータリーはアメリカのスパイと見られ、全国のロータリークラブは解散し、帯広ロータリークラブもやむなく昭和15年に解散を宣言されたのでした。

しかしながら、ロータリーの精神は「不滅」かつ「不变」でありました。認証伝達式は昭和26年6月に33名の会員により、華々しく奉仕の活動は再開されたのでありました。この貴重な体験は、後から誕生したクラブの先導役を果たされることとなり、非常に大きな功績を残されましたことに心より賛辞を贈りたいと存じます。

時代の潮流が大きく変わろうとも、この理想である「奉仕」の精神は世代に関係なく平等に浸透し、その活動は地域の人々に深く愛され大きく広がってまいりました。これは、歴代の役員をはじめ、会員皆様のご尽力の賜と深く敬意を表するものであります。

また、地域の就学援助制度にいち早く取り組み「帯広ロータリー奨学金制度」を創設されるなど独自の事業にも積極的に取り組まれたご功績も見のがすことのできないすばらしい事業でございました。

70年の歴史の重みと実績を礎に、豊かな明日の地域社会づくりのため帯広ロータリークラブの今後の更なるご活躍を期待しながら、会員皆様のご多幸とご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

Congratulatory address

70年の歩みダイジェスト

1935～1950年《誕生》

1905年シカゴでロータリーが創立してから15年後、1920年に三井銀行の重役であった米山梅吉と三井物産ニューヨーク支店長の福島喜三次の労により、日本最初の東京ロータリークラブが設立されている。その8年後の1928年には日本全土が国際ロータリー第70地区に指定され、初代ガバナーに米山梅吉が就いた。3代目ガバナー村田省蔵のクラブ拡大路線「人口30,000人以上の町にロータリークラブをつくろう！」の大号令のもと、1933年創立の札幌ロータリークラブをスポンサーとして、1935年帯広ロータリークラブは誕生している。



創立当時（昭和10年12月9日）会員

創立時の昭和10年、帯広は市制施行2年後で人口は3万2千人余の地方都市であった。当時の帯広初代市長渡部守治を初代会長に、商工会議所会頭宮本富次郎、杉田末吉、藤本長蔵、佐藤亀太郎等を発起人としてチャーターメンバー19名相集り、3月15日帯広市公会堂にて創立総会を開催し、続いて5月31日国際ロータリー認証3820を受け、同年8月11日十勝会館において、日本ロータリー第4代ガバナー朝吹常吉のもと

チャーター伝達式を挙行している。参加者総員は120名余で盛会を極めた。日本ロータリー設立順位は第16番目であった。

この頃の世情についてみると、1932年満州事変の勃発、1933年日本は国際連盟を脱退、世界は第2次世界大戦に突入と、ロータリーを取巻く環境は風雲急を告げる暗黒の時代へと突き進んでいた。



戦前の例会場 藤丸百貨店

国内においても陸軍先導による戦時非常時体制へと進み、ロータリーという国際友好団体に対する世情の眼は厳しくなりつつあった。特に軍部からは秘密結社「フリーメーソン」に関係する如く見られ、アメリカのスパイ的存在と偏見をもたれ、右翼のロータリーへの弾圧は日増しに激化した。

1940年8月になると状況は一層深刻となり、同年9月に日満ロータリー連合会が解散すると共に国際ロータリーを脱退し、東京ロータリークラブを先頭に日本各地のロータリークラブの解散が続いている。

帯広ロータリークラブにおいても、1940年9月5日 会員15名出席のもと、第3代会長窪田利長

70年の歩みダイジェスト

はクラブ解散を宣言し自主解散するに至った。

その後、帯広クラブはその精神・理念・友情を惜しみ、「帯広木曜会」として存続し、以後20回の例会を開いている。しかし、1941年1月30日を最後に以降例会中止を決議し、創立以来通算292回の例会をもって帯広ロータリークラブは完全に休止している。

創立まもない当時のクラブ活動については、「帯広ロータリー俱楽部の諸記録」という古色蒼然たる大福帳が残っており、現在貴重な資料となっている。

当時は、クラブ組織、委員会等も明確でなく運営は会長・副会長に任せられ、奉仕部門の委員会もなかったようだ。諸費用に関して「会費1ヶ月=5円、食事代=1円、国際ロータリー一分担金=6円40銭、会員の弔意=10円」等の記述が見られ興味をひく。

1938～39年になって初めて、会員詮衡、出席、プログラム、職業分類のクラブ奉仕の委員会名が見られる。同年、北海道ロータリー俱楽部連合会が旭川陸軍病院に映写機の贈呈をし、帯広クラブは81円を拠出献金している。

また、当時の14金ロータリーバッヂを造幣局で換金して国防献金、或いは戦傷病兵の慰問、銃後後援会への支援など当時の世相を反映した奉仕活動をしている。

1939年7月、十勝公会堂において第5回北海道ロータリー俱楽部連合協議会が開催され、第8代ガバナー森村市左衛門、幹事の小林雅一(共に東京クラブ)が出席し、60名余のメンバーが相会し開催されている。



渡部 守治氏
(1935 1939)

藤本 長藏氏
(1939 1940)

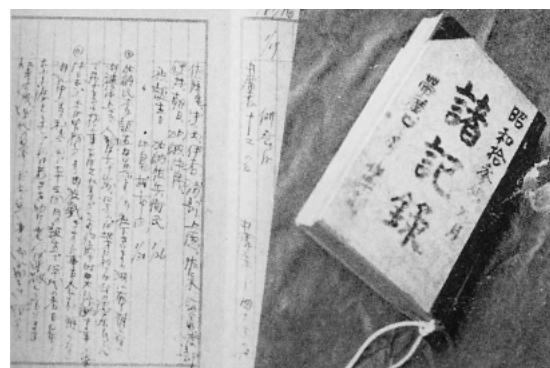
窪川 利長氏
(1940 1941)

1940年2月には「ロータリー違法週間」に因んで、22日に札幌ロータリクラブ小熊倉次郎副会長をゲストにお呼びして意義ある例会を開催すると共に、郷土出身の出征軍人への地元新聞の送付、戦傷病者の慰問などの奉仕をしている。

同年4月のガバナー公式訪問に、国際ロータリー第70地区ガバナー森村市左衛門の代理として「宮脇 富」が帯広ロータリークラブを訪れている。

「宮脇 富」は、日本ロータリーの戦後再開に多大に尽力されると共に、帯広ロータリークラブの戦後再開に無くては成らない人物である。

また、地区大会等にも会員が積極的に参加していたようである。特に同年5月に横浜で開催された「日満ロータリー俱楽部連合会」には、中島武市、有田重太郎夫妻が参加し、帯広ロータリークラブの意気軒昂な姿が見られる。



昭和13年9月 171回例会から解散に至る迄の、帯広ロータリー俱楽部の諸記録と題した帳面が残っている。

70年の歩みダイジェスト

1951～1960年《再開》

第2次世界大戦後、漸く経済復興 世情安定の中、日本のロータリーは、国際ロータリーへの復帰の気運が盛上り、当時国際ロータリー中央アジア駐在員(後に、RI第3代事務総長就任)のジョージ・ミーンズの親日的な努力により、



1950年、再開当時の会員

1949年3月、日本のロータリーは国際ロータリーの加盟復帰が認められ、東京ロータリークラブに続いて日本各地でクラブが再開している。戦後日本の国際連盟復帰に先立って、ロータリーが先に承認され復活したことは、当時の日本のロータリーの真摯な姿勢がうかがわれる。

帯広ロータリークラブにおいては、1950年早春より再開が取り沙汰されていたが、その頃戦前のスポンサークラブである札幌ロータリークラブから当時帯広畜産大学学長の宮脇富に対しクラブ再開勧

誘の連絡があり、それを機会に急速に準備が進められた。暮れも押し迫った同年12月19日、札幌クラブから伊藤豊次会長を迎えてチャーターメンバー33名にて戦後再開の総会が開かれた。

帯広ロータリークラブの戦後極めて早い時期の復活は、その3年後の1953年日本のロータリー地区2分割後の第60地区ガバナーを務めた宮脇 富の熱意と功績に拠るところ多大であり、帯広クラブとして最大の幸運であったと言うべきである。

再開時の例会場は、旧藤丸百貨店3階にあり、その後平原荘ホテル(西3南11)、宮本食堂(西1南10)、労働会館と変転し、1953年には旧日本勵業銀行帯広支店(西2南10)に移る。以降1968年帯広ステーションホテルに移るまで同会場にて行われている。

再開後の10年間は、ロータリーの原点であるクラブ例会が確実に行われ、逐年増加する会員の親睦と友愛を第一番にしてクラブ活動の充実が進められている。特に注目すべきは、当時全



昭和26年6月17日 チャーター伝達式

70年の歩みダイジェスト

国各地で開催される大会等に対し、会員・家族が毎年数名から多い時には20名余が出席し、全国のロータリアンとの親交を深めている。

また、クラブ会報の前身とも言うべき「例会だより」の第1号が、1952年8月24日付で発行されている。

職業奉仕、社会奉仕にも見るべき多くの実践行動を残している。職域の永年勤続者及び優良職場従業員表彰の継続実施、歳末助け合い運動への協力、帯広市図書館に「ロータリー文庫」の寄贈、公徳傘の提唱、都市と農村をつなぐ懇談会の開催、新聞配達少年激励大会の開催など、地域社会のニーズに対応して活発に活動している。

1955年には、国際ロータリー創立50周年ならびに帯広ロータリークラブ創立20周年を迎えて記念式典行事の開催と記念誌「奉仕と共に」を発刊し、また「帯広ロータリークラブ奨学金制度」を開設している。

1959年には、帯広市内に区域割譲によるディショナル・クラブとして帯広北ロータリークラブを設立している。



戦後再会第一次会場 平原荘ホテル



第二次会場 労働会館



第三次会場 日本勵業銀行帯広支店

70年の歩みダイジェスト

1961～1975年《拡大》

日本国内の高度経済成長による発展と共に、帯広クラブは新しい時代への対応と地域社会のニーズに応える実践行動のクラブへと体質改善が進み、クラブ活動も多様化し確実に前進している。会員数は1961年には56名となり、その後も着実に増加して、40周年を迎えた1975年には76名となる。クラブ年間予算もこの15年間で約5倍と飛躍的に増大し、当時のクラブ活動の拡大がうかがわれる。

1960年に北海道全域が第350地区となってから、ロータリークラブの新設が強く要請され、帯広ロータリークラブは十勝管内にロータリークラブの新設を計画する。両角克治ガバナー（1961～62釧路北RC）の指導のもと、帯広クラブの先達杉田末吉、山崎義平等の積極的実行力により、1962年広尾RC、芽室RC、足寄RC、翌年清水RC、1965年上士幌RCと、この4年間に矢継ぎ早に5つのクラブをスポンサーとして創立している。

更に1972年に、帯広北ロータリークラブと共同して帯広市内3番目となる帯広西ロータリークラブを設立している。この偉業は当時のガバ

ナーの拡大意欲と共に、これに応えた当時の関係先達ロータリアンの労苦を讀みたい。

1964年、郷清吉会長のもと、国際ロータリー第350地区大会をホストし、先年竣工した帯広市民会館にて、730名余の多数のロータリアンおよび家族の登録のもとに盛大に開催されている。

奉仕活動においては、1955年来の継続事業である「帯広ロータリークラブ奨学金制度」も成果をあげ、1967年には、警察・行政と協力して小中学生を対象に都市安全交通教室を実施し、大変好評を得た。

1965年、国際ロータリー創立60周年、帯広RC創立30周年記念事業として帯広駅前広場に「大地」の像を寄贈設置しており、現在もなお市民に親しまれている。同じく記念事業として、岩内仙峠の一角に「帯広ロータリーの森」を分取契約にて設置しその後数年、育樹や親睦園遊会などを催している。

更に、1972～73年度第350地区協議会の主催、GSE（研究グループ交換学生）の受入れ、1975年帯広ローターアクトクラブの結成等、めざましい活動をしている。

クラブとして内部的にも充実し、さらに新クラブの創設など地区第2順位創立のクラブに相応しい極めて活発な足跡を残している。



国際ロータリー創立 60周年記念事業「大地」(駅前広場)

70年の歩みダイジェスト

1976～1985年《50周年》

第1次オイルショックによる経済的影響と共に、大型店の帯広進出等による厳しい経済環境にあったが帯広においては大きな催事も多く、帯広ロータリーは地域のニーズに応えて、各種記念行事の開催をはじめ積極的に活動し多くの実績を残している。

1980年、国際ロータリー創立75周年、帯広RC45周年記念行事として市内3クラブ共催で「水資源問題」をテーマにパネルディスカッションを開催して多大の反響を呼び、市民の水資源への関心の盛り上がりと共に高く評価されている。また「帯広の森」造成基金に対して40周年に引き続き多額の寄付をし地域のニーズに応えている。

1982年、地域最大の催事である帯広市開拓100年、市制施行50年に当り、ロータリーの記念事業として、市内3クラブ合同して大ブロンズ像「大地と夢想」を100年記念館前庭に寄贈設置し、併せてロータリー創立100年の2005年に向けて3クラブ全員のメッセージをタイムカプセルにして埋設している。

因みにこのタイムカプセルは、50年後の2032年開



創立50周年記念。「鈴木健二講演会」入場風景（市民会館）

封と約されている。

国際奉仕活動においては、第250地区第4回研究グループ交換（GSE）に団員を送り出し、またロータリー財団奨学生をニュージーランドに派遣し、国際理解と親善に一役かっている。

1982年帯広RCがホストした第3回ライラセミナーは、帯広市緑ヶ丘児童会館に総勢130名が参加して



創立50周年記念特別講演会

多大の成果を収めて、今もなお語り草となっている。

1980～81年度第250地区ガバナーに前年度会長の西川義正が就任し、地区幹事田中弘他地区役員協力のもとに地区運営に功績を残している。

次に1985年の最大事業として行われた創立50周年記念事業について記しておく。1935年創立の帯広ロータリークラブは満50年を迎え、この年3月15日市民会館において地区内外から340名のロータリアンおよび家族が参加して盛大に開催された。

特別ゲストとして、元国際ロータリー理事松平一郎およびパストガバナー安野譲次（一宮RC）を迎えて特別講演を催し、記念事業として当時NHKチーフアナウンサーの鈴木健二氏を招いて市民参加のもとに「暮しの再発見」と題しての市民文化講演会を開催している。

この特別記念行事は、地域にひろくロータリークラブを周知すると共に極めて有意義な文化活動であった。



帯広市開拓100年市制施行50周年記念事業

「大地と夢想」

製作者 坂東 優（百年記念館南側庭）

70年の歩みダイジェスト

1986～1995年《60周年》

国内経済も1988年頃より好転し、土地や株価の上昇で資産価値が上がり、円高メリットや政府の内需拡大政策により国民は一時の豊かさを享受したが、1990年に入ると過剰な設備投資はやがてバブル崩壊を招き景気は一気に減速し永い不況の時代へと突き進む。また、1989年昭和天皇が崩御し昭和時代の終焉を迎えるに平成と改元された。

世界においては、東欧の共産圏諸国で民主化運動が激しくなり社会主義体制が崩壊する歴史的变化の中にあって、共産圏諸国でのロータリークラブの復活、誕生がみられる。



1,851名が参加した1989 - 90年度地区大会

このような時代背景の中にあっても、帯広ロータリークラブは奉仕の理念に基づき地域社会に貢献し、世界の眞の平和を願いながら奉仕活動の実践を着実に行って来ている。

例えば、例会運営の工夫による剩余金をアフリカ難民救済の義援金に、また高齢化社会に対応した奉仕活動や青少年育成に関する活動、或いはロータリー財団および米山記念奨学会への協力、特に1987年から強く要請された「ポリオプラス」の募金協力に多大に貢献している。

1989-90年度地区大会を帯広クラブのホストによりを開催した。1964年以来2回目のホストとなる。井上一男大会委員長、清野耀大会幹事のもと「ロータリーの友情、十勝野に集う」をキャッチフレーズ

に、「大地に響け、ロータリー讃歌」を大会テーマとして、帯広市民文化ホールに1851名の登録を集め大成功を収めた。

1991-92年度には、国際ロータリー第2500地区ガバナーとして帯広クラブから田中弘会員を輩出し、豊富な経験と活動力をもって大いに活躍し、ホストクラブとして面目躍如たるものがあった。

1990年、特別代表 田中弘のもとで市内5番目の帯広南ロータリークラブが誕生し、既存4クラブからの会員移籍者を含めチャーターメンバー55名でスタートした。帯広クラブからも故浅岡四郎会員を始め、5名の会員が移籍した。

1995年、帯広ロータリークラブは創立60周年の還暦を迎える。加藤一夫実行委員長のもとに、「輝く年輪、新たな奉仕」をテーマとして記念式典を挙行し、帯広クラブの歴史を築いて来られた先輩会員への深い感謝とともに、21世紀への新たな旅立ちであった。



1995. 3. 11 創立60周年記念式典

70年の歩みダイジェスト

1996～2005年《70周年》

21世紀を目前にして、国内の景気低迷は相変わらずで経済の国際化によるグローバルスタンダードとIT革命の急速な進展により、国内企業は嫌が上にも改革を求められる時代となった。また、世界の情勢は宗教戦争、民族紛争が絶えず、テロによる社会不安が拡がる混迷のなかで新世紀を迎える。

国際ロータリーにおいても大きな変革の奔流のなかにあった。1989年シンガポールにおける規定審議会で女性の会員資格が盛り込まれて以来、多くの女性会員が誕生し、女性のクラブ会長、ガバナーも出現している。

帯広クラブにあっても2001年に3名の女性会員を率先して迎え、クラブの歴史に新しい一頁が加えられた。

グローバルウェストに応えて、開発途上国に於ける貧困、飢餓、疫病救済に対する財団活動の人道的分野プログラムは増大し、更に国際ロータリーが20世紀に亘る最大の活動として「ポリオプラス撲滅運動」が最重要課題とされた。

ロータリー活動における「職業奉仕」の意義が見直され、現在「会員個人とクラブ」の両面の活動とされている。また、ロータリーの標語に対する字句の変更、クラブ例会運営に関する諸規程の緩和、更にインターネットの進展に伴う「サイバークラブ」の発足など、時代を反映した変革が進行している。



鈴木会長と2001.4.11 入会の4人の皆さん

会員数においては経年減少傾向にあり、会員増強は当面の最重要課題である。



2004.10.10 職業奉仕活動「生活なんでも相談」

1995 96年度国際ロータリー第2500地区ガバナーとして、帯広クラブ歴代3人目となる田村昇市会員を輩出する。田村ガバナーはロータリー財団恒久基金（ベネファクター）の普及に努め、その功績を讃えて財団理事長から栄光の盾を授賞した。

2002 03年度より試行されたDLP（地区リーダーシップ・プラン）により導入された「ガバナー補佐」制度のもと、第6分区ガバナー補佐として当クラブから鈴木樹会員が任命され、小船井修一ガバナー（釧路RC）から新制度試行のパイロット分区として指名を受け、その期待に応えた積極的な行動力は記憶に新しい。

大変に厳しい世相にあって、帯広ロータリークラブは創立70周年に向けて着実に活動を進め、会員の親睦を第一にロータリー情報の啓蒙に努めてきた。会員数も毎年度100名余を維持し、奉仕活動は勿論、ロータリー財団、米山記念奨学会への協力も年々実績を積み重ね、伝統と歴史あるクラブとして矜持を保っている。

1950 ~ 1951

1950.7.1 33名

帯広ロータリークラブ再開については、前述の経過を経て、1951年6月に十勝会館にてチャーター伝達式が行われている。国際ロータリー会長代理として、手島知健ガバナー出席のもと、米国から、カール・ベルト陸軍少佐、十勝支庁寺田真一、帯広市長佐藤龜太郎等の来賓はじめ、道内外10名余の参加を得て盛大の裡に式典が開催された。再開時のチャーティメンバーは、宮本來治、杉田末吉他33名にてスタートしている。



RI会長
アーサー・ラグニュー
(カナダ)



地区ガバナー
手島 知健
(東京RC)



クラブ会長
宮本 来治

1950 ~ 51年度理事・役員

会長	宮本 来治	理 事	有田重太郎
副会長	杉田 末吉	"	宮脇 富
幹 事	相沢 正美	"	宮本富次郎
副幹事		"	宮本 来治
会 計	中原 哲男・白鳥源太郎	"	杉田 末吉
会計補佐		"	徳光須々也
S A A	佐藤 太郎	"	志田 信弥

1951 ~ 1952

1951.7.1 33名

記録によると、翌日には参加者一同にて、社会見学が行なわれており、日本甜菜製糖工場、雪印乳業工場、日本罐詰工場の見学が行なわれている。

チャーター伝達式役員 委員長 有田重太郎、副委員長 山崎義平、総務委員 宮本来治、杉田末吉他、式典委員 伊藤経作、接待委員 中島武市、会計委員 宮坂寿美雄、余興委員 石神清二等々の名前が載っている。

例会場 宮本食堂

例会だより 9月24日、第1号発行
会員数 35人となる



RI会長
フランク・E・スペイン
(米国)



地区ガバナー
星野 行則
(大阪RC)



クラブ会長
宮本 来治

1951 ~ 52年度理事・役員

会長	宮本 来治	理 事	有田重太郎
副会長	杉田 末吉	"	宮脇 富
幹 事	相沢 正美	"	宮本富次郎
副幹事		"	宮本 来治
会 計	中原 哲男・白鳥源太郎	"	杉田 末吉
会場監督	佐藤 太郎	"	徳光須々也
		"	志田 信弥

1952 ~ 1953

1952.0.0 00名

1952年10月より例会場
帯広労働会館へ
永年勤続優良従業員
表彰（職業奉仕活動）
帯広図書館にロータリー文庫寄贈
1953年1月
「ロータリーの友」誌創刊
名古屋年次大会 帯広RC 4名出席



RI会長
H. J. ブルニエー
(米国)



地区ガバナー
小林 雅一
(東京RC)



クラブ会長
杉田 末吉

1952 ~ 53年度理事・役員

会長 杉田 末吉	理 事 山崎 義平
副会長 阿部 三郎	" 小林 信治
幹 事 郷 清吉	" 今 四方一
副幹 事	" 岸 政友
会 計 山崎 義平	" 杉田 末吉
会場監督 岸 政友	

1953 ~ 1954

1953.7.1 37名

1953 ~ 1954年度RIテーマ

クラブがふえれば友人が増す 友人が増えれば奉仕の機会を増す

優良従業員表彰（4名）
1953年8月
天皇皇后両陛下帯広行幸・啓
札幌年次大会 帯広RC24名
(夫人数名)出席
1953年12月
例会場 = 日本勧業銀行帯広支店



RI会長
ホアキン S.シビルス
(ウルゲアイ)



地区ガバナー
宮脇 富
(札幌RC)



クラブ会長
宮本富次郎

1953 ~ 54年度理事・役員

会長 宮本富次郎	理 事 服部 秀治
副会長 石神 清二	" 梶野 善映
幹 事 郷 清吉	" 飯島安三郎
副幹 事	" 石神 清二
会 計 竹中 一晃	" 高野 國太
会場監督 能勢 真美	" 宮本富次郎
	" 杉田 末吉

1954 ~ 1955

1954.7.1 40名

1954 ~ 1955年度RIテーマ

四つのテストを強調せよ ロータリアンが青少年の模範に
国際間の理解と親善に前進せよ 善きロータリアン即ちよき市民で

国際ロータリー創立50周年記念

行事実施 実行委員長 山崎義平

1955年3月 帯広商工奨励館

記念事業

・帯広RC創立20周年記念誌

「奉仕と共に」

・帯広ロータリー奨学資金制度開始

職業奉仕として「市内優良職業人」

表彰を行なう

例会日 金曜日と変更

ロータリー50周年、日本ロータリー

京都連合年次大会

(15名出席他家族11名)



RI会長
A. Z. Bera
(米国)



地区ガバナー
柳瀬 省吾
(横浜RC)



クラブ会長
中島 武市

1954 ~ 55年度理事・役員

会長 中島 武市	理 事 古澤 泰一
副会長 今 四方一	" 伊藤 経作
幹 事 郷 清吉	" 木谷 武二
副幹 事	" 今 四方一
会 計 千葉 義雄	" 宮本富次郎
会場監督 山田雄太郎	" 中島 武市
	" 能勢 眞美

1955 ~ 1956

1955.7.1 41名

1955 ~ 1956年度RIテーマ

我等の資源を開発しよう

1955年7月 第7回北海道IGF

十勝川温泉にて開催 帯広RCホスト

職業奉仕活動

「市内優良職場就業者」表彰を行なう

東北・北海道、1地区となる

ロータリー研究「1日講習会」始まる

年会費

月1,800円、年額21,600円となる

入会費 5,000円

新潟大会が急遽東京大会に変更され、

帯広RC 6名出席



RI会長
A. Z. Bera
(米国)



地区ガバナー
小松 隆
(東京RC)



クラブ会長
山崎 義平

1954 ~ 56年度理事・役員

会長 山崎 義平	理 事 中島 武市
副会長 千葉 義雄	" 郷 清吉
幹 事 野村勝次郎	" 水野 薫
副幹 事 小川 晃	" 竹中 一晃
会 計 南 隆春	" 山田勇太郎
会場監督 小川 晃	

1956 ~ 1957

1956.7.1 43名

1956~1957年度RIテーマ

1. ロータリーは、簡潔に
2. ロータリーアンは、もっとロータリーを
3. お互いもっと知り合おう

北海道は東北と分割し第350地区となる
例会出席、年度算定を7月~6月のロータリーアンに合わせる
日本ロータリー第60区
仙台大会に7名参加



RI会長
ジャンP・ラング
(イタリア)



地区ガバナー
伊藤 文吉
(新潟RC)



クラブ会長
石神 清二

1956~57年度理事・役員

会長 石神 清二	理 事 山崎 義平
副会長 有田重太郎	" 荒井 千秋
幹 事 小川 晃	" 石田 清治
副幹 事	" 伊谷伴三郎
会 計 服部 秀治	" 野村勝次郎
S A A 牛島 淳恵	

1957 ~ 1958

1957.7.1 45名

1957~1958年度RIテーマ

奉仕

1. 動員 2. 拡張 3. 探究 4. 奉仕

職業奉仕活動 新聞配達少年激励会発会!
ガバナー特別代表として、初めて山崎義平選任される
北海道1地区となる
第1回北海道地区大会小樽市にて開催
帯広RC18名出席
世界理解週間、設置される
第60地区東京大会(3地区連合)
帯広RC14名出席(他家族5名)帯広RC意気軒昂!



RI会長
チャールズ G. テンネット
(米国)



地区ガバナー
佐藤 幸三
(仙台RC)



クラブ会長
小林 信治

1957~58年度理事・役員

会長 小林 信治	理 事 石神 清二
副会長 伊藤 紹作	" 清兼 政市
幹 事 荒井 千秋	" 志田 信一
副幹 事 林 克巳	" 牛島 淳恵
会 計 中川 一美	" 森 長作
会計補佐 藤下儀右衛門	
会場監督 小田豊四郎	

1958 ~ 1959

1958.7.1 48名

1958 ~ 1959年度RIテーマ

未来の形成に協力しよう

昭和34年2月23日

帯広北ロータリークラブ設立

チャーターメンバー24名

特別代表 山崎義平

初代会長 中林重美

帯広RC移籍、幹事 荒井千秋

帯広RC例会々報

能勢眞美会員の作製・絵葉書形式、

RI公式機関誌“ザ・ロータリアン”

に掲載紹介される...評判!

北海道1地区「第350地区」ガバナ

ーに函館の伊部政治郎就任

入会金 8,000円と改められる



RI会長
クリフォードA.ランドール
(米国)



地区ガバナー
伊部政次郎
(札幌RC)



クラブ会長
水野 薫

1958 ~ 59年度理事・役員

会長 水野 薫	理事 小林 信治
副会長 石田 清治	" 河道 竜藏
幹事 荒井 千秋	" 中川一美
副幹事 藤下儀右衛門	" 西佐古寅一
会計 小田豊四郎・小森佐久夫	" 河西十二郎
S A A 中川 一美	小林 重実
	長野 善三
	高木万亀治

会長 水野 薫	理事 小林 信治
" 河道 竜藏	柴田幸七郎
" 中川一美	中林重実
" 西佐古寅一	長野 善三
" 河西十二郎	高木万亀治

1959 ~ 1960

1959.7.1 51名

1959 ~ 1960年度RIテーマ

友愛の橋をかけよ

第350地区年次大会(於福島)

例会出席率優勝ガバナー「第6位」

受賞す

日本ロータリー福島地区大会

帯広RCより8名(家族7名)出席



RI会長
ハロルドT.トーマス
(ニュージーランド)



地区ガバナー
真崎 健夫
(札幌RC)



クラブ会長
千葉 義雄

1959 ~ 60年度理事・役員

会長 千葉 義雄	理事 郷 清吉
副会長 竹中 一晃	" 高木万亀治
幹事 能勢 真美	" 西 隆雄
副幹事 小森佐久夫	" 大野 重興
会計 景山 三郎	" 荒井 千秋
S A A 千葉 義雄	

1960 ~ 1961

1960.7.1 54名

1960 ~ 1961年度RIテーマ

あなたはロータリーです

帯広RC創立25周年・再開10周年記念式、実行委員長 杉田末吉

1961年2月23日 記念誌発行

委員長 有田重太郎、能勢眞美

記念事業：新装の帯広市民会館落成、前庭に大噴水池贈呈計画

国際大会(第1回)東京開催

全国7地区となり、関東・東北・北海道4地区連合年次大会 東京開催

催



RI会長
J.E. マックロウリン
(米国)



地区ガバナー
坂牛直太郎
(小樽RC)



クラブ会長
田所哲太郎

1960 ~ 61年度理事・役員

会長	田所哲太郎	理事	千葉 義雄
副会長	服部 秀治	"	川上 茂雄
幹事	小泉 祝男	"	関 庄太郎
副幹事	中町 隆	"	大野 重興
会計	戸倉 敏男	"	荒井 千秋
会計補佐	中見 利夫		
S A A	西村 忠恵		

1961 ~ 1962

1961.7.1 56名

1961 ~ 1962年度RIテーマ

行動せよ

前年度よりの北海道全域が第350地区となり、クラブの外部拡大が要請されていた。

地区ガバナー両角克治の指導のもと、特別代表 杉田末吉の世話にて帯広RCのスポンサークラブとして、1962年2月広尾RC創立。続いて1962年3月芽室RC創立す。

北海道ロータリー(第350地区)

地区協議会開催(ホスト帯広RC)

(從来の一日講習会は以後中止となる)

「ロータリーの友」誌

創刊10周年を迎える。

クラブ年会費 24,000円に改正される



RI会長
ジエラード A. アビー
(米国)



地区ガバナー
両角克治
(釧路北RC)



クラブ会長
今 四方一

1957 ~ 58年度理事・役員

会長	今 四方一	理事	田所哲太郎
副会長	高木万亜治	"	杉田 末吉
幹事	中町 隆	"	藤本 善雄
副幹事	大野 重興	"	西村 忠恵
会計	中見 利	"	小泉 祝男
会計補佐	田中 弘		
S A A	大島 洋		

1962 ~ 1963

1962.7.1 54名

1962~1963年度RIテーマ

内部に火を燃やせ

世界社会奉仕委員会発足
1日講習会は中止となる
RI指示、マチッド地区・マチッドクラブ制発足
前年度に統いて十勝第5番目のRCとしてスponサークラブとして足寄RCを設立す
ガバナー...阿部謙夫(札幌RC)
特別代表 杉田末吉



RI会長
ニッティシ C.ラハリー
(インド)



地区ガバナー
阿部 謙夫
(札幌RC)



クラブ会長
伊谷半三郎

1962~63年度理事・役員

会長 伊谷半三郎	理 事 今 四方一
副会長 郷 清吉	" 浅野 正治
幹 事 大野 重興	" 笠井 治男
副幹 事 戸倉 敏男	" 樽井 芳雄
会 計 田中 弘	" 山田勇太郎
会計補佐 竹市 一巳	
S A A 三浦龍之介	

1963 ~ 1964

1963.7.1 63名

1963~1964年度RIテーマ

宇宙時代のロータリーの進路

1963年9月 十勝管内第6番目
清水RCをスponサークラブとして
創立
ガバナー 阿部謙夫
特別代表 杉田末吉
新しい北海道全域第350地区年次大
会 帯広RCホスト開催決定
日本全国10地区となる



RI会長
カール P.ミラー
(米国)



地区ガバナー
滝本 庄蔵
(札幌西RC)



クラブ会長
有田重太郎

1963~64年度理事・役員

会長 有田重太郎	理 事 郷 清吉
副会長 能勢 真美	" 大須賀梅次
幹 事 郷 清吉	" 西尾 京雄
副幹 事 戸倉 敏男	" 杉田 長男
会 計 田中 弘	" 三浦龍之助
会計補佐 竹市 一巳	
S A A 藤本 善雄	

1964 ~ 1965

1964.7.1 72名

1964~1965年度RIテーマ

ロータリーに生きよう

第350地区年次大会 帯広市民会館にて帯広RCホスト 9月12~13日
 実行委員長 小林 信治
 国際ロータリー創立60周年記念行事
 1965年2月 市民会館
 実行委員長 山崎義平
 帯広民衆駁新築、ステーションビル竣工
 駅前広場に「大地」ブロンズ像設置
 計画(3年)実行委員長 中島武市
 ・河西十二郎
 「帯広ロータリーの森」開始
 (分収造林契約開始)
 川西町岩内仙峠
 (竹市一己会員の協力による)
 十勝管内第7番目上士幌RC創立
 1965年1月
 ガバナー 寿原九郎
 特別代表 杉田末吉



RI会長
チャールズ W.ペッテンゴル
(米国)



地区ガバナー
寿原 九郎
(小樽RC)



クラブ会長
郷 清吉

1964~65年度理事・役員

会長郷清吉	理事竹中一晃	理事藤本善雄
副会長西隆雄	有田重太郎	" 真野務
幹事田中弘	山田薰	"
副幹事三浦龍之助	柏工長行	
会計藤本善雄	秋山次郎	
会計補佐真野勉	田中弘	
S A A 高田政雄	三浦龍之助	

1965 ~ 1966

1965.7.1 73名

1965~1966年度RIテーマ

1. 行動
 2. 強化
 3. 繼続性
- 創立30周年記念式典開催
 1966年2月 委員長 水野 薫
 1966年5月 記念事業(千葉義雄)
 帯広市開拓発祥の地記念碑設置
 (東6南3)
 帯広RC...ロータリー財団奨学生
 ...大井輝男選出支援(第1回)



RI会長
C.P.H.ティーンストラ
(オランダ)



地区ガバナー
嵯峨 春
(釧路RC)



クラブ会長
竹中 一晃

1965~66年度理事・役員

会長竹中一晃	理事水野 薫
副会長野村勝次郎	竹中 一晃
幹事三浦龍之助	郷 清吉
副幹事奥原重満	高木万亀治
会計真野 務	西 隆雄
会計補佐堀内 静雄	長野 善三
S A A 長内 末吉	三浦龍之助

1966 ~ 1967

1966.7.1 76名

1966~1967年度RIテーマ

ロータリーでよりよい世界を

帯広ロータリークラブ奨学金制度
終焉し解散する
地区リーダーシップ・フォーラム
開催される



RI会長
リチャード L. エヴァンス
(米国)



地区ガバナー
岡田 正雄
(旭川RC)



クラブ会長
石田 清治

1966~67年度理事・役員

会長	石田 清治	理 事	会務奉仕	小泉 祝男
副会長	小泉 祝男	"	社会奉仕	中曾 貞一
幹 事	中曾 貞一	"	職業奉仕	堀内 静雄
副幹 事	井上 一男	"	国際奉仕	浅原 幹一
会 計	堀内 静雄			
会計補佐	菊地 敏男			
S A A	藤本 善雄			

1967 ~ 1968

1967.7.1 71名

1967~1968年度RIテーマ

ロータリアンとしてのあなたの資格を効果的に

帯広RC例会場 帯広ステーション
ホテルに変更になる
都市安全交通子供教室開催
ゴーカート寄贈 好評を得る



RI会長
ルーサー H. ホッジス
(米国)



地区ガバナー
小畠 信愛
(函館RC)



クラブ会長
清兼 政市

1967~68年度理事・役員

会長	清兼 政市	理 事	会務奉仕	大野 重興
副会長	大野 重興	"	社会奉仕	井上 一男
幹 事	井上 一男	"	職業奉仕	菊地 敏男
副幹 事	石神 清明	"	国際奉仕	岩下 一男
会 計	菊地 敏男	"		長内 末吉
会計補佐	大町 順勝			
S A A	高橋 忠雄			
	高橋 文雄			

1968 ~ 1969

1968.7.1 68名

1968～1969年度RIテーマ

参加し敢行しよう！

国際青少年交換学生プログラムに
参加（帯広RCより1名派遣、1名
受入実施）
地区幹事、地区会計制導入される
青少年活動月間制定され、青少年
奉仕委員会発足する
クラブ年会費48,000円と改正され、
以降漸次上昇している。



RI会長
東ヶ崎 潔
(日本)



地区ガバナー
島本 融
(札幌RC)



クラブ会長
荒井 千秋

1968 ~ 69年度理事・役員

会長	荒井千秋	理事	会務奉仕	清兼	政市
副会長	開庄太郎	"	社会奉仕	田中	弘敏
幹事	石神清明	"	職業奉仕	菊地	男男
副幹事	栗山篤二	"	國際奉仕	井上	保
会計	高橋忠雄	"		実藤	
会計補佐	長谷川安三郎				
S A A	大須賀梅次	清兼	政市		

1969 ~ 1970

1969.7.1 76名

1969～1970年度RIテーマ

再検討し刷新しよう

第8分区(十勝9RC)IGF 帯広市
にて開催 帯広RCホストクラブ
国際ロータリー規定審議会が国際
大会とは別に開催される



RI会長
ジェームスF.コンウェイ
(米国)



地区ガバナー
秋山康之進
(札幌RC)



クラブ会長
野村 勝次郎

1969~70年度理事・役員

会長	野村勝次郎	理事	会務奉仕	梶野善映
副会長	戸倉敏男	"	社会奉仕	浅野正治
幹事	栗山篤二	"	職業奉仕	浅原幹一
副幹事	真野務	"	国際奉仕	佐野修治
会計	茨木章茂	"		荒井千秋
会計補佐	木村茂			
S A A	栗山厚三	久保由雄		

1970 ~ 1971

1970.7.1 73名

1970 ~ 1971年度RIテーマ

隔たりを取り除こう

北海道2地区に分割され、第350地区として誕生する
分区代理管理組織が確立される
創立35周年（1970年10月）記念行事開催 式典委員長 梶野善映
笠井治男
記念事業...緑ヶ丘公園台地
「彫刻の森」造成計画スタート
石彫像「望郷」設置（三浦龍之助）



RI会長
ウイリアム E. ウォーク Jr.
(米国)



地区ガバナー
伊藤元一郎
(北見RC)



クラブ会長
西 隆雄

1970 ~ 71年度理事・役員

会長	西 隆雄	理 事	職業奉仕	大道寺舎人
副会長	田中 弘	"	社会奉仕	斎藤 茂美
幹事	真野 務	"	国際奉仕	山口 和夫
副幹事	佐藤 公一	"		西佐古寅一
会計	木村 茂	"		梶野 善映
会計補佐	松山 譲			
S A A	久保 由雄	石神 清明		

1971 ~ 1972

1972.7.1 70名

1971 ~ 1972年度RIテーマ

善意は先ずあなたから

「帯広ロータリーの森」を岩内仙峠の景勝の地に育成して6年。本年度にて、分収造林契約を解約し、竹市一巳会員に山林を返却する
帯広西RC創立 1972年2月
帯広市内3番目のRC

帯広RC、帯広北RC夫々の地域を割譲する

特別代表 石田清治

帯広RC11名移籍する

第350地区協議会 帯広にて開催 木スト...帯広北RC



RI会長
A.G. ブライトホルツ
(スウェーデン)



地区ガバナー
鷺塚 三郎
(名寄RC)



クラブ会長
梶野 善映

1971 ~ 72年度理事・役員

会長	梶野 善映	理 事	職業奉仕	高橋 文雄
副会長	浅原 幹一	"	社会奉仕	奥原 重満
幹事	佐藤 公一	"	国際奉仕	木村 敏二
副幹事	菊地 敏男	"		大須賀梅次
会計	松山 譲			
副会計	三浦 悟			
S A A	石神 清明	清水 富治		

1972 ~ 1973

1972.7.1 76名

1972~1973年度RIテーマ

もう一度見直そう

帯広RC ロータリー財団寄付金協力を推進する
RI第350、351地区連合地区大会
札幌市厚生年金会館にて開催する
RI第350地区協議会 帯広市にて開催
「帯広の森」20年計画でスタートする
帯広RC植樹祭に協力



RI会長
ロイ・D・ヒックマン
(米国)



地区ガバナー
松井 幸雄
(芽室RC)



クラブ会長
大野 重興

1972~73年度理事・役員

会長 大野 重興	理事 翌年度会長 小泉 祝男
副会長 浅野 正治	佐野 修治
幹事 菊地 敏男	井上 一男
副幹事 木村 敏二	斎藤 茂美
会計 一柳 伸郎	久保 由雄
副会計 藤森 照雄	
S A A 田中 弘	
	野島富士末

1973 ~ 1974

1973.7.1 73名

1973~1974年度RIテーマ

今こそ行動のとき

帯広RC ロータリー財団委員会設置
財団協力に理解を深める
初のGSE受入 オーストラリア
国際親善活動意気盛ん
第8分区IGF 足寄で開催
帯広RCより多数参加する



RI会長
W.C.カーター
(米国)



地区ガバナー
中林 啓次
(根室RC)



クラブ会長
小泉 祝男

1973~74年度理事・役員

会長 小泉 祝男	理事 翌年度会長 佐野 修治
副会長 笠井 治男	佐野 重満
幹事 木村 敏二	奥原 清明
副幹事 高橋 忠雄	石神 篤二
会計 藤森 照雄	栗山 重興
副会計 太田 順暢	
S A A 野島富士末	
	浅岡 四朗

1974 ~ 1975

1974.7.1 73名

1974~1975年度RIテーマ

ロータリーの精神を振るい起こせ

1975年2月創立40周年
 (国際ロータリー70周年)
 ステーションホテルにて記念行事
 式典委員長 田中 弘、
 記念事業委員長 菊地敏男、
 「帯広の森」造成基金100万円寄贈
 1975年6月 帯広ローターアクト
 クラブ設立
 (スポンサーRC 帯広・帯広北・帯広西)
 帯広市内主要道路交差点信号機に
 丁目表示板協力
 (3RC合同奉仕活動)



RI会長
ウィリアム R. ロビンズ



地区ガバナー
佐直庄太郎
(帯広北RC)



クラブ会長
佐野 修治

1974~75年度理事・役員

会長	佐野 修治	理事	翌年度会長	浅野 正治
副会長	三浦龍之助	"	職業奉仕	久保 由雄
幹事	高橋 忠雄	"	社会奉仕	菊地 敏男
副幹事	加藤 一夫	"	国際奉仕	大滝 信臣
会計	太田 順暢	"		真野 務
副会計	中鉢 昌幸			
S A A	浅岡 四郎			
副S A A	岩堀 氏隆			

1975 ~ 1976

1975.7.1 76名

1975~1976年度RIテーマ

人間に威信を！

帯広RC ローターアクト委員会設置 ローターアクトクラブへの育成指導
 ロータリー財団奨学生のスポンサー クラブとなる
 RI第250地区大会 帯広市にて開催



RI会長
E. I. デ・メロ
(ブラジル)



地区ガバナー
近藤 篤二
(紋別RC)



クラブ会長
浅野 正治

1975~76年度理事・役員

会長	浅野 正治	理事	翌年度会長	戸倉 敏男
副会長	杉田 長男	"	職業奉仕	木村 敏二
幹事	加藤 一夫	"	社会奉仕	高橋 文雄
副幹事	一柳 伸郎	"	国際奉仕	小原 昭吉
会計	中鉢 昌幸	"		奥原 重満
副会計	清野 照雄			
S A A	岩堀 氏隆			
	藤森 照雄			

1976 ~ 1977

1976.7.1 80名

1976~1977年度RIテーマ

奉仕 ロータリーは私を信奉する

国際青少年交換学生 スリランカ
留学生招待...国際理解親善につと
める
ロータリー財団奉仕協力 2,400%
地区内上位となる
D250.D251 合同地区大会 札幌真
駒内アイスアリーナにて開催
帯広RC多数参加
第6分区 I.G.F. 帯広市にて開催



RI会長
ロバート A.マンチェスター
(米国)



地区ガバナー
武田 三一
(旭川RC)



クラブ会長
戸倉 敏男

1976~77年度理事・役員

会長 戸倉 敏男	理事 翌年度会長 高木万亜治
副会長 奥原 重満	" 職業奉仕 浅岡 四郎
幹事 一柳 伸郎	" 社会奉仕 高橋 忠雄
副幹事 荘田 喜與志	" 國際奉仕 酒井 忠
会計 清野 耀標	" 青少年奉仕 大河原正雄
S A A 藤森 照雄	"
矢野 三浦 治夫 正勝	藤本 善雄

1977 ~ 1978

1977.7.1 89名

1977~1978年度RIテーマ

全人類を結びつけるために奉仕せよ 友愛と理解による奉仕を

(1978/5) 第69回 国際ロータリー東京大会 東京原宿・代々木
国際競技場にて開催 帯広RC 5名
出席(田中 弘、莊田喜与志、浅
岡四郎 他2名)
ロータリー財団寄付協力、2,700%
第6分区 I.G.F. 芽室町開催



RI会長
W. ジャック・デービス
(バーミューダ)



地区ガバナー
加世 本英
(稚内RC)



クラブ会長
高木万亜治

1977~78年度理事・役員

会長 高木万亜治	理事 翌年度会長 田中 弘
副会長 高橋 文雄	" 職業奉仕 石神 清明
幹事 莊田 喜與志	" 社会奉仕 大須賀良明
副幹事 清野 耀標	" 國際奉仕 窪田 耕一
会計 高橋 標	" 青少年奉仕 足立 純朗
副会計 大河原正雄	"
会計補佐 柴田 敏男	井上 一男
S A A 矢野 治夫	安倍 茂雄
	松尾 哲朗

1978 ~ 1979

1978.7.1 88名

1978~1979年度RIテーマ

手をさし伸べよう

国際青少年交換学生プログラムに初
参加。

GSEチーム 受入(アメリカ D516)
IGF 帯広市で開催 帯広RCホスト
ロータリー財団協力 3,300%。
地区内第1位となる。

帯広RC 「ロータリー文庫」開設す
クラブ入会金「50,000円」と改正さ
れる。以後現在に至る。

会員の平均年齢52.6歳で以後最低で
あった。



RI会長
クレム・レスフ
(オーストラリア)



地区ガバナー
渡部 良吉
(富良野RC)



クラブ会長
田中 弘

1978~79年度理事・役員

会長 副幹事 副幹事 会計 副会計 会計補佐 S A A	田中 弘 清水 耀 清野 良明 大須賀 正雄 大河原 敏男 柴田 正勝 三浦 安倍 坂本 中町	理事 " " " " " " " "	翌年度会長 一柳 伸郎 真野 勿 亀井 利幸 大滝 信臣 野島富士末
	坂本 正 悦朗		

1979 ~ 1980

1979.7.1 93名

1979~1980年度RIテーマ

奉仕の灯で道を照らそう

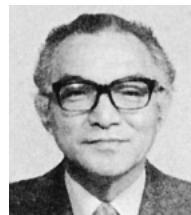
国際ロータリー創立75周年記念行事実施 (1980/2)
記念式典 委員長(笠井 治男)
ステーションホテル
記念事業 委員長(杉田 長男)
グランドホテル
講演 「十勝の産業と水資源」
(畜大教授 西 武)
「帯広の森」造成基金100万円寄贈
帯広開拓100周年・市制施行50周年
委員長(浅野 正治)
帯広開拓100年記念鉢(緑ヶ丘公園)
大ブロンズ像「大地と夢想」設立
(市内3RC合同協力)
「21世紀へ贈る ロタリアンの
メッセージ」タイムカプセル埋設
50年後の2032年開封計画
D350 地区協議会 帯広RCホスト
開催



RI会長
J. L. ポーマー Jr.
(米国)



地区ガバナー
山川 久明
(旭川IRC)



クラブ会長
西川 義正

1979~80年度理事・役員

会長 副幹事 副幹事 会計 副会計 会計補佐 S A A	西川 義正 真野 勿 大須賀 良明 亀井 利幸 柴田 敏男 三浦 正勝 河西雄二郎 坂本 正 清野 耀 鈴木 康昭	理事 " " " " " " " "	翌年度会長 笠井 治夫 高橋 忠雄 小原 昭吉 莊田喜與志 藤森 照雄 酒井 忠
--	--	-----------------------	--

1980 ~ 1981

1980.7.1 92名

1980 ~ 1981年度RIテーマ

時間を捧げよう奉仕のために

D250 会長・幹事研修 帯広開催
帯広RCホスト
ロータリー 財団協力 5,300%



RI会長
ロルフ J. クラリッピ
(フィンランド)



地区ガバナー
西川 義正
(帯広RC)



クラブ会長
笠井 治男

1980 ~ 81年度理事・役員

会長	笠井 一男	理事	翌年度会長	奥原 重満
副会長	上龜井 利幸	"	職業奉仕	加藤 一夫
幹事	井原敏男	"	社会奉仕	進藤 恒彦
副幹事	三浦正勝	"	国際奉仕	谷 源一
会計	足立純朗	"	青少年奉仕	里瀬 稔
副会計	小池忠雄	"		石神 清明
会計補佐	清野耀			
S A A	難波 矢田			
	治雄 孝			

1981 ~ 1982

1981.7.1 90名

1981 ~ 1982年度RIテーマ

ロータリーを通じて世界理解と平和を

1982. 6 帯広開拓100年・市制施行50年記念行事実施する 帯広・帯広北・帯広西 3 RC合同記念例会開催

ロータリー財団協力 5,700%



RI会長
スタンレー E. マッキャフリー
(米国)



地区ガバナー
清水 幸彦
(釧路RC)



クラブ会長
奥原 重満

1981 ~ 82年度理事・役員

会長	奥原 重満	理事	職業奉仕	莊田 喜與志
副会長	石杉 清明	"	社会奉仕	山口 和夫
会長エレクト	神田 長男	"	国際奉仕	高橋 標
幹事	笠原 敏男	"	青少年奉仕	橋 精三
副幹事	森 照雄			高橋 忠雄
会計	足立 順朗			
副会計	河西 二郎			
S A A	難波 正勝			
	治雄 龍一			
	三浦 小沼			

1982 ~ 1983

1982.7.1 97名

1982~1983年度RIテーマ

人類はひとつ... 世界中に友情の橋をかけよう

1982.8 D250 第3回ライラセミ
ナー 緑ヶ丘児童会館 帯広RCホ
スト実施
地区GSE派遣 帯広RC推進「宮崎
敏男」(池田牧場) GSE団長にてア
メリカへ派遣
帯広RCロータリー財団奨学生派遣
す
第6分区代理 田中 弘会員就任



RI会長
向 笠 広 次
(日本)



地区ガバナー
田巻 寅三
(北見東RC)



クラブ会長
杉田 長男

1982~83年度理事・役員

会長	杉田 長男	理事 職業奉仕	黒井 利幸
副会長	高橋 浩之助	社会奉仕	浅岡 四郎
会長エレクト	三浦 龍之助	国際奉仕	坂本 正
幹事	藤森 照雄	青少年奉仕	大須賀 良明
副幹事	中鉢 昌幸		山口 和夫
会計	河西 雄二郎		
副会計	中町 悅朗		
S A A	三浦 正勝		
	国枝 宏有		
	矢内 俊雄		

1983 ~ 1984

1983.7.1 100名

1983~1984年度RIテーマ

みんなにロータリーを みんなに奉仕を

ロータリー財団寄付 7,700%
RI会長賞 授賞す
D2500 米山記念奨学金 第1号
帯広RC スポンサークラブとなる
第6分区 IGF 帯広市にて開催
会員数 初めて100名となり以降90
名~100名を維持す
年間 総支出額=2,300万円超過す
奉仕部門支出が年間奉仕総額の
42%を占め最高となる



RI会長
ウィリアム E. スケルトン
(米国)



地区ガバナー
大原 信友
(紋別RC)



クラブ会長
三浦龍之助

1983~84年度理事・役員

会長	三浦 龍之助	理事 職業奉仕	柴田 敏男
副会長	山口 和夫	職業奉仕	木村 敏二
会長エレクト	栗山 篤二	社会奉仕	加藤 一夫
幹事	中鉢 昌幸	国際奉仕	佐藤 公一
副幹事	浅岡 四郎	青少年奉仕	大滝 欽也
会計	木澤 康昭		
副会計	鈴木 幹士		
S A A	国枝 宏有		
	杉山 三明		
	松田 瞳夫		

1984 ~ 1985

1984.7.1 96名

1984~1985年度RIテーマ

見つけよう 奉仕の新生面

1985年3月 帯広RC創立50周年記念行事開催実行委員長(田中 弘)

「東急イン」

- ・記念講演 = 「ロータリーの友」
- 特別顧問 安野 譲次(PG)
- ・50周年記念誌「帯広ロータリークラブ50年の歩み」発行

1985年6月 ・記念事業: 特別文化講演...NHKチーフアナウンサー

鈴木健二 市民公開 大盛況 感銘深し

「暮しの再発見」 於市民会館



RI会長
カルロス・カンセコ
(メキシコ)



地区ガバナー
道下 俊一
(浜中RC)



クラブ会長
栗山 篤二

1984~85年度理事・役員

会長	栗山 篤二	理事	クラブ奉仕	松崎 孝造
副会長	栗山 敏二	"	職業奉仕	三浦 龍之助
会長エレクト	木村 一男	"	社会奉仕	清野 耀
幹事	浅岡 四郎	"	国際奉仕	高橋 標
副幹事	大河原 正雄	"	青少年奉仕	白石 俊之
会計	金沢 幹士	後藤 宣孝		大西 孝吉
副会計	国枝 宏有	清水 佳功		
S A A	杉山 三明	宣孝		

1985 ~ 1986

1985.7.1 96名

1985~1986年度RIテーマ

あなたが“鍵”です

帯広RC初の行事「例会粗食デー」開催 余剰金30万円...アフリカ難民救済義援金協力す

帯広畜大留学生家族を、クラブ家族野遊会に招待し親善を深める

帯広畜大国際交流会と懇談会を開催し、国際交流に貢献す

第77回RIラスベガス(ネバダ州)国際大会に、田中弘地区GSE委員長として出席す



RI会長
エドワード F. カドマン
(米国)



地区ガバナー
中原 勇治
(留辺蘂RC)



クラブ会長
井上 一男

1985~86年度理事・役員

会長	井上 一男	理事	直前会長	栗山 篤二
副会長	久保田 由雄	"	クラブ奉仕	小原 昭吉
会長エレクト	高橋 文雄	"	職業奉仕	中鉢 昌幸
幹事	大河原 雄雄	"	社会奉仕	亀井 利幸
副幹事	柴田 敏男	"	青少年奉仕	進藤 恒彦
会計	国枝 男	"	国際奉仕	鈴木 省三
副会計	杉山 宏有			
会場監督	窪田 三明			
	伊藤 耕一	伊藤 優明		

1986 ~ 1987

1987.7.1 93名

1986~1987年度RIテーマ

ロータリーは希望をもたらす

「日本の食文化」理解のため月1回例会食事に提供
 「士幌線」へ感謝・お別れ座敷列車で行楽す
 「高齢者への暖かい思いやり」防水シーツ100枚寄贈
 帯広RC1800回記念例会
 國際ロータリー活動に「ボリオプラスプログラム」開始される
 ロータリー財団寄付・米山記念奨学会寄付協力を推進される
 入会者6名 退会者5名 物故者3名
 ロータリー財団奨学生「田代詞生君推薦合格す」
 ロータリー財団協力地区内第1位



RI会長
M.A.T.ガブライス
(フィリピン)



地区ガバナー
池内 正人
(遠軽RC)



クラブ会長
高橋 文雄

1986~87年度理事・役員

会長	高橋 文雄	会場監督	伊藤 優明	直前会長	井上 一男
副会長	小原 昭吉	伊東 满渡		クラブ奉仕	大滝 信臣
会長エレクト	高橋 忠雄			職業奉仕	白石 俊之
幹事	柴田 敏男			社会奉仕	清野 耀
副幹事	大西 孝吉			青少年奉仕	矢野 治夫
会計	杉山 三明			国際奉仕	窪田 耕一
副会計	野村 文彦				

1987 ~ 1988

1987.7.1 92名

1987~1988年度RIテーマ

ロータリアン奉仕に結束 平和に献身

出席率の向上・会員相互の親睦
 会員増強につとめる
 高齢者等の福祉活動青少年奉仕の強化
 例会開会でのロータリーソングに代り歌唱指導者 山崎女史を招き
 指導のもとに「日本の歌」を合唱し好評を博す
 青少年の健全育成へ「キャンプ用テント」市に寄贈
 在宅老人家庭へ訪問
 国際奉仕部門支出額200万円突破す



RI会長
チャールズ C. ケラー
(米国)



地区ガバナー
秋永 智徳
(網走RC)



クラブ会長
高橋 忠雄

1987~88年度理事・役員

会長	高橋 忠雄	会場監督	水野 正光	直前会長	高橋 文雄
副会長	大滝 信臣	西佐古 求		クラブ奉仕	加藤 一夫
会長エレクト	山口 和夫	田 和夫		職業奉仕	藤森 照雄
幹事	大西 孝吉			社会奉仕	中町 悅朗
副幹事	矢野 治夫			青少年奉仕	大和 昭一
会計	野村 文彦			国際奉仕	田村 昇市
副会計	竹中 優介				

1988 ~ 1989

1988.7.1 95名

1988~1989年度RIテーマ

ロータリーに活力を あなたの活力を

老人ホーム慰問 複写機一式寄贈
前年に続き青少年のためにキャン
プ用テントを市に寄贈
中学生弁論大会へ9クラブを挙げ
て支援す
RI韓国ソウル国際大会へ帯広会員
出席す



RI会長
A. H. ロイス・アビー
(オーストラリア)



地区ガバナー
黒田 一秀
(旭川南RC)



クラブ会長
山口 和夫

1988~89年度理事・役員

会長	山口 和夫	会場監督	清野 照雄	直前会長	高橋 忠雄
副会長	加藤 一夫		中務 多聞	浅岡 四郎	
会長エレクト	大滝 信臣		野越 敬昌	国枝 宏有	
幹事	矢野 治夫			鈴木 樹	
副幹事	金沢 幹士			杉山 三明	
会計	竹中 優介			大河原正雄	
副会計	清水 宣孝				

1989 ~ 1990

1989.7.1 88名

1989~1990年度RIテーマ

ロータリーを楽しもう！

1989年9月 D2500地区大会 帯広市民文化ホールにて開催 帯広RCホスト
RI会長代理：向笠広次 テーマ「ロータリーの友情・十勝野に響け」大会実行委員長 井上一男 登録者1851名
記念講演：千 宗室RI理事「奉仕の心」特別講演：ジェームス・三木「ドラマと人生」
帯広RC創立55周年記念式典 帯広RCパストガバナー西川義正講演「ロータリーを楽しもう」
1990年2月 帯広南RC創立 チャーターメンバー55名 帯広RCより移籍5名
特別代表 田中 弘
帯広RC 記録保存委員会設定（初代委員長 田中 弘 以降連続委員長）
名誉会員 4名選出（郷 清吉・石田清治・野村勝次郎・西川義正）
親睦家族野遊会 北海道ホテルにて開催 197名参加 親睦活動盛ん
国際奉仕活動費が200万円超過す



RI会長
ヒュー M. アーチャー
(米国)



地区ガバナー
長谷川晃三
(帯広東RC)



クラブ会長
大滝 信臣

1989~90年度理事・役員

会長	大滝 信臣	会場監督	白石 俊之	直前会長	山口 和夫
副会長	浅岡 四郎		牛来 仁	藤森 照雄	
会長エレクト	加藤 一夫		高橋 忠雄	橋 精三	
幹事	金沢 幹士			三浦 正勝	
副幹事	高橋 標			林 光繁	
会計	清水 宣孝			柴田 敏男	
副会計	小沼 龍一				

1990 ~ 1991

1990.7.1 96名

1990~1991年度RIテーマ

ロータリーを高めよ 思いを尽くし 热意を尽くし

会員拡張に配意し 新入会員13名
退会者5名純増8名であった
家族ぐるみの親睦に力を入れ 家族野遊会は「池田まきばの家」で
楽しみ好評であった
厚生委員会による会員健康診断を行ない 成人病の予防に留意した
社会奉仕事業の一つとして 帯広特別養護老人ホーム「けいせい苑」
へ「痴呆症老人介護用具」一式贈呈す また養護老人ホーム「普仁園」にて植樹を実施した
帯広ローターアクトクラブ活動への支援に配意しローターアクト会員の増強に協力した



RI会長
パウロ V. C. コスタ
(ブラジル)



地区ガバナー
七戸 幸夫
(旭川北RC)



クラブ会長
加藤 一夫

1990~91年度理事・役員

会長 加藤 一夫	会場監督 田 和夫	直前会長 大滝 信臣
副会長 藤森 照雄	竹中 楠介	クラブ奉仕 清野 耀
会長エレクト 庄田喜與志	姉崎 久	職業奉仕 真鍋 智紀
幹事 高橋 標		社会奉仕 川上 勝久
副幹事 三浦 正勝		青少年奉仕 林 博道
会計 小沼 龍一		国際奉仕 進藤 恒彦
副会計 富士道昭憲		

1991 ~ 1992

1991.7.1 99名

1991~1992年度RIテーマ

自分を超えた眼を

1月特別例会にて、地区バストガバナー山川久明(旭川RC)を招き「変革期のロータリー」ゲスト講演を開きロータリーの知識となった。
会員の健康維持を目的に、厚生委員会による会員健康診断に力を注いだ。米山記念奨学会への寄付協力に力を入れ、米山功労者(20名)米山協力者(17名)準功労者(34名)計71名の協力があった。

特別委員会として記録保存委員会が設置され、永年の歴史の中での極めて多くの報告書・記録書・文献等の整理に入った(委員長 田中 弘)。本年度は地区ガバナーに田中 弘会員が就任し活躍を応援した



RI会長
ラジェンドラ・K. サブー
(インド)



地区ガバナー
田中 弘
(帯広RC)



クラブ会長
庄田喜與志

1991~92年度理事・役員

会長 庄田喜與志	会場監督 小野寺哲也	直前会長 加藤 一夫
副会長 野島富士末	後藤 裕弘	クラブ奉仕 大河原正雄
会長エレクト 進藤 恒彦	姉崎 久	職業奉仕 鈴木 康昭
幹事 三浦 正勝		社会奉仕 林 光繁
副幹事 竹中 楠介		青少年奉仕 後藤 佳功
会計 富士道昭憲		国際奉仕 大和 昭一
副会計 安達 嶽		

1992 ~ 1993

1992.7.1 96名

1992~1993年度RIテーマ

まことの幸福は人助けから

11月11日 2100回例会を迎え、記念
移動夜間例会開催、先達の労苦を回
顧した。

会員増強に当って「女性会員」について会員の関心を論じ一步前進した
障害者救済活動に注目し帯広ケア・
センターとの連絡をとった。

ニコニコ献金が初めて300万円の大台
を超える前年度の3倍の成績となった。



RI会長
クリフ・ダクターマン
(米国)



地区ガバナー
奈良 尚久
(旭川東RC)



クラブ会長
進藤 恒彦

1992~93年度理事・役員

会長	進藤 恒彦	会場監督	林 博道	直前会長	莊田喜與志
副会長	川上 和彦	曾我 彰夫	鶴安 雅満	クラブ奉仕	鈴木 樹
会長エレクト	田村 昇市	幹事	竹中 優介	職業奉仕	栗山 雅光
幹事	竹中 優介	副幹事	清水 宣孝	社会奉仕	田 和夫
副幹事	清水 宣孝	会計	安達 嶽	青少年奉仕	大野三代治
会計	安達 嶽	副会計	後藤 登	国際奉仕	西佐古 求

1993 ~ 1994

1993.7.1 95名

1993~1994年度RIテーマ

行動に信念を 信念は行動に

会員の入会・退会が多く12名入会
に対して13名の退会で、差引1名
の減となった 退会理由は転任に
によるものであった

新入会員の卓話が注目された
ロータリー財団への協力推進され
た ポール・ハリスフェロー59名、
マルチブルポールハリスフェロー
19名 財団寄付推進にあたっては
「認証据置きクレジット」の活用が
注目された

クラブ年会費 9万円と改訂



RI会長
ロバート R. バーンズ
(スイス)



地区ガバナー
矢坂 康三
(佐呂間RC)



クラブ会長
田村 昇市

1993~94年度理事・役員

会長	田村 昇市	会場監督	後藤 裕弘	直前会長	進藤 恒彦
副会長	高橋 標	山下 英世	矢野 治夫	クラブ奉仕	矢野 治夫
会長エレクト	藤森 照雄	鈴木 康昭	安達 嶽	職業奉仕	安達 嶽
幹事	清水 宣孝	和夫	竹中 優介	社会奉仕	竹中 優介
副幹事	田 和夫	登修	眞鍋 智紀	青少年奉仕	眞鍋 智紀
会計	後藤 登修		津村 刚	国際奉仕	津村 刚
副会計	合田 合				

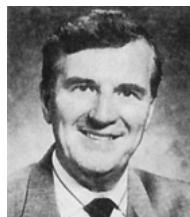
1994 ~ 1995

1994.7.1 98名

1994~1995年度RIテーマ

友達になろう

帯広RC創立60周年記念式典開催
テーマ「輝く年輪新たな奉仕」於
ホテル北海館
実行委員長 加藤一夫 記念事業・記念講演 嵐キャノン会長
「企業家のロマン」
・記念寄贈 帯広市へ公害保全車
1台・ロータリー財団阪神大震災救援 100万円寄贈
2500地区ローターアクト地区大会
帯広開催に協力す
社会奉仕活動費が200万円を超える注目される
クラブ経理面で総支出額が3,200万円を超え注目される



RI会長
ビル・ハントラー
(イングランド)



地区ガバナー
進藤 和行
(旭川RC)



クラブ会長
藤森 照雄

1994~95年度理事・役員

会長	藤森 照雄	会場監督	山下 英世	直前会長	田村 昇市
副会長	大須賀良明		松本 博和	クラブ奉仕	柴田 敏男
会長エレクト	高橋 標		杉田 長男	職業奉仕	中町 悅郎
幹事	田 和夫			社会奉仕	大滝 欽也
副幹事	杉山 三明			青少年奉仕	山岡 淑朗
会計	合田 修			国際奉仕	橋 精三
副会計	大野三代治				

1995 ~ 1996

1995.7.1 101名

1995~1996年度RIテーマ

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

「誠意と友情 信頼の絆」
爽秋の一日 親睦家族野遊会が新嵐山荘で開催し好評であった
家庭集会は成果上り有意義であった
厚生委員会による会員の健康診断は
有意義に行われた
財団寄付協力に関心が盛り上りベネ
ファクターが新たに7名に増加した
ボリオプラス活動に関心の盛り上げ
に留意した
クラブ奉仕の支出額=奉仕部門の
80%を占める 会員数再び100名超



RI会長
ハーバートG・ブラウン
(米国)



地区ガバナー
田村 昇市
(帯広RC)



クラブ会長
橋 標

1995~96年度理事・役員

会長	高橋 標	会場監督	大和 昭一	直前会長	藤森 照雄
副会長	柴田 敏男		加藤 維利	クラブ奉仕	大滝 欽也
会長エレクト	大須賀良明		山口 和夫	職業奉仕	牛来 仁
幹事	杉山 三明			社会奉仕	小野寺哲也
副幹事	国枝 宏有			青少年奉仕	星屋 洋樹
会計	大野三代治			国際奉仕	川上 勝久
副会計	立川 康夫				

1996 ~ 1997

1996.7.1 94名

1996~1997年度RIテーマ

築け未来を 行動力と先見の眼で

会員逝去4名あり淋しいことであつた

親睦家族野遊会をグリュック王国ビュッケブルグ城で開催し会員・家族122名の参加あり思い出のひとときであった

第2300回例会記念は印象に残ったロータリー情報委員会事業の一端として会員を対象に「ロータリー活動のあれこれ」アンケート実施 参考になる結果が得られた
ポール・ハルス没後50周年を期して1月22日ロータリー理解推進月間に併せ追悼例会を開催した



RI会長
ルイス・ビセンティ・ジアイ
(アルゼンチン)



地区ガバナー
坂本 一
(駒路北)



クラブ会長
大須賀良明

1996~97年度理事・役員

会長	大須賀良明	会場監督	加藤山岡維利淑朗信臣	直前会長	高橋 橋	標
副会長	矢野治夫			クラブ奉仕	小西 康昭	精三保男
会長エレクト	柴田敏男			職業奉仕	鈴木 曜	
幹事	国枝宏有			社会奉仕	曾我 駿夫	
副幹事	星屋洋樹			青少年奉仕	高橋 勝坦	
会計	立川康夫			国際奉仕		
副会計	奥周盛					

1997 ~ 1998

1997.7.1 94名

1997~1998年度RIテーマ

ロータリーの心を

会員数は年度当初と年度末変わらずであった

入会者12名 退会者10名 逝去会員2名であった

記念事業費基金として100万円積立す

親睦家族会 嵯暮クリスマス家族会に力を入れる

世界社会奉仕事業の一端としてチベット自治区に希望小学校建設資金20,000贈呈以後8年間継続す
例会出席率 = 初めて90%割込む



RI会長
グレン W. キンロス
(オーストラリア)



地区ガバナー
梶浦 利和
(留辺蘂)



クラブ会長
柴田 敏男

1997~98年度理事・役員

会長	柴田 敏男	会場監督	山岡 淑朗	直前会長	大須賀良明
副会長	橋 精三			クラブ奉仕	金沢 幹士
会長エレクト	矢野治夫			職業奉仕	小沼 龍一
幹事	星屋洋樹			社会奉仕	森 武夫
副幹事	合田修			青少年奉仕	藤本 長章
会計	奥周盛			国際奉仕	林 博道
副会計	高橋 勝坦				

1998 ~ 1999

1998.7.1 90名

1998~1999年度RIテーマ

ロータリーの夢を追い続けよう

年度始め会員94名に対し入会者7名退会者19名で年度末90名となり初めて会員減少をみた
帯広市内5RC会長・幹事会の幹事クラブとして5RCの共同活動等について問題解決に当る
クラブ・細則第2条について明確に改正変更する

新会員9名を新入会員オリエンテーションに力を注ぐ
ロータリー財団寄付協力者の増加につとめる



RI会長
ジェームス L. レイシー
(米国)



地区ガバナー
清水 哲也
(旭川南)



クラブ会長
矢野 治夫

1998~99年度理事・役員

会長	矢野 治夫	会場監督	和田 賢二	直前会長	柴田 敏男
副会長	金沢 幹士	武藤 仁一	井上 一男	クラブ奉仕	川上 勝久
会長エレクト	白石 俊之			職業奉仕	林 光繁
幹事	合田 修			社会奉仕	小沼 龍一
副幹事	後藤 裕弘			青少年奉仕	清水 宣孝
会計	高橋 勝坦			国際奉仕	真鍋 智紀
副会計	奥原 宏				

1999 ~ 2000

1999.7.1 92名

1999~2000年度RIテーマ

ロータリー2000：活動は 堅実、信望、持続

会員の平均年齢の低減に意を注いだ一年であった 若返りに特に留意した 正会員 = 56.56 全会員 = 56.78であった

米山記念奨学生 ホスト
畜大学生 金 延娟
トルコ地震義援金 寄付66,000円
有珠山噴火見舞義援金83,000円
当RC創立65周年（再開50周年）記念行事



RI会長
カルロ・ラビッソ
(イタリア)



地区ガバナー
田巻 明男
(紋別港)



クラブ会長
白石 俊之

1999~2000年度理事・役員

会長	白石 俊之	会場監督	安達 巖	直前会長	矢野 治夫
副会長	水野 正光	梅安 雅満	巖	クラブ奉仕	大和 昭一
会長エレクト	鈴木 樹	荘田喜與志		職業奉仕	小野寺哲也
幹事	後藤 裕弘			社会奉仕	森 義孝
副幹事	山下 英世			青少年奉仕	星屋 洋樹
会計	奥原 宏			国際奉仕	立川 康夫
副会計	清水 茂彰				

2000 ~ 2001

2000.7.1 105名

2000~2001年度RIテーマ

意識を換気し - 進んで行動を

クラブ活動として本年度は会長の積極性もあり特異な年であった
新会員は20名を迎える退会者7名であったが13名の純増で年度末には105名の大台を超えた
地区内、記念周年式典には会長以下数名が出席し祝福につとめた
二コニコ献金額が320万円となり最高額を達成した地区内随一となつた
米山記念奨学生（畜大留学）中国からの「ターブシラト」君をホストす
クラブ細則の改正を実施す



RI会長
フランク J. デブリン
(メキシコ)



地区ガバナー
高林 茂
(芽室)



クラブ会長
鈴木 樹

2000~01年度理事・役員

会長	鈴木 樹	副会計	内木 泰永	直前会長	白石 俊之
副会長	川上 勝久	会場監督	桜井 雅満	クラブ奉仕	高橋 勝坦
"	林 光繁		神 俊明	職業奉仕	道 吉見
会長エレクト	鈴木 康昭		進藤 恒彦	社会奉仕	高橋 猛文
幹事	山下 英世			青少年奉仕	奥 周盛
副幹事	曾我 彰夫			国際奉仕	合田 修
会計	清水 茂彰				

2001 ~ 2002

2001.7.1 105名

1952~1953年度RIテーマ

人類が私たちの仕事

地区RC創立記念周年式典 9 RCあり総ての祝事に参加した
特別積立金100万円を決定す
年間出席率は91.8%であった
会員卓話21回に及び年間例会プログラムの40%を占めた
新会員増強は12名の入会者であり
退会者も12名であった
クラブ会計では分担金が年々増加し本年度は330万円を超えた
また奉仕部門での「クラブ奉仕」費が830万円となり奉仕部門の87%を占めるに至った



RI会長
リチャード D. キング
(米国)



地区ガバナー
副島 正道
(北見西)



クラブ会長
林 光繁

2001~2002年度理事・役員

会長	林 光繁	副会計	田中 一郎	直前会長	鈴木 樹
副会長	大和 昭一	会場監督	高橋 猛文	クラブ奉仕	合田 修
"	高橋 勝坦		片所 幸一	職業奉仕	国島 直幸
会長エレクト	真鍋 智紀		橋 精三	社会奉仕	星屋 洋樹
幹事	清水 茂彰			青少年奉仕	田村 康人
副幹事	奥 周盛			国際奉仕	曾我 彰夫
会計	梶原 雅仁				

2002 ~ 2003

2002.7.1 103名

2002~2003年度RIテーマ

慈愛の種を播きましょう

会員増強に特段の留意をし、新会員10名を迎えたが諸般の状況により12名の退会者があり、期末は103名となった

地区内クラブ創立周年記念式典が7RCあり総ての行事に会員が出席した

地区GSE事業の受入で「インドネシア」グループを迎えて5RC合同で歓迎会を開催した

第6分区IM開催をホストし意義ある会合を持つことが出来た

RI規定改定に伴いクラブ細則を一部改正した



RI会長
ビチャイ・ラタクリル
(タイ)



地区ガバナー
小船井修一
(釧路)



クラブ会長
真鍋 智紀

2002~03年度理事・役員

会長 副会長 " " 会長エレクト 幹事 副幹事 会計	真鍋 智紀 大滝 欽也 合田 修 高橋 勝坦 奥 周盛 梶原 雅仁 田中 一郎	副会計 会場監督	森 片所 國枝 幸一 神谷 千秋 昭典	直前会長 クラブ奉仕 職業奉仕 社会奉仕 青少年奉仕 国際奉仕	林 林 博道 岩宏 安達 宏 奥原 真康 佐藤 泰永 内木 泰永
--	---	-------------	------------------------------	--	---

2003 ~ 2004

2003.7.1 103名

2003~2004年度RIテーマ

『手を貸そう』

9月十勝沖地震により、家族野遊会の内容を大きく変更した

第2900回記念例会の実施

5月北海道ホテルで行った夜桜例会が好評を博す

国際ロータリー大阪大会に帯広RCより18名参加



RI会長
ジョナサン B. マジアイペ
(ナイジェリア)



地区ガバナー
豊島 弘通
(旭川)



クラブ会長
高橋 勝坦

2003~04年度理事・役員

会長 副会長 " " 会長エレクト 幹事 副幹事 会計	高橋 宏有 国枝 博道 林 修 合田 雅仁 梶原 維利 森 武夫	副会計 会場監督	竹川 千秋 國枝 健二 後藤 鈴木 鈴木 樹	直前会長 クラブ奉仕 職業奉仕 社会奉仕 新世代奉仕 国際奉仕	真鍋 智紀 清水 茂彰 神 俊明 後藤 裕弘 平原 隆 高橋 猛文
--	---	-------------	---------------------------------	--	--

70

70th ANNIVERSARY OBIHIRO ROTARY CLUB



ロータリーを
祝おう

100年の歩み

帯広ロータリークラブ・周年記念行事一覧

名 目	日 時	記 念 行 事		実行委員長	会 長	幹 事
		式 典	事 業			
国際 ロータリー 創立50周年	1955/ 3	帯広商工奨励館	<ul style="list-style-type: none"> ・「奉仕と共に」小冊子発行 ・育英事業...奨学資金1,000万円 5ヶ年計画発足 ・RI各地区アルファベット順に毎年 2地区に民芸品(熊の木彫)贈呈 ・外国RCにクリスマスカード送付 	山崎 義平	中島 武市	郷 清吉
創立25周年 (再開10周年)	1960/ 2	帯広商工奨励館	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広市民会館前庭に大噴水池設置 ・「記念誌」発行 	杉田 末吉 有田重太郎 能勢 真美	田所哲太郎	小泉 祝男
国際 ロータリー 創立60周年	1965/ 2	帯広市民会館	<ul style="list-style-type: none"> ・新築 帯広民衆駅前広場 ブロンズ像「大地」設置 	中島 武市 河西十二郎	郷 清吉	田中 弘
創立30周年 (再開15周年)	1966/ 5	帯広市民会館	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広市開拓発祥の地 「記念碑」設置 	水野 薫 千葉 義雄	竹中 一晃	三浦龍之助
創立35周年 (再開20周年)	1970/10	ステーションホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘公園台地 「彫刻の森」造成計画 石彫「望郷」一基設置 	梶野 善映 笠井 治男 三浦龍之助	西 隆雄	真野 務
創立40周年 (再開25周年)	1975/ 2	ステーションホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・「帯広の森」造成基金 100万円寄贈 	田中 弘 菊地 敏男	佐野 修治	高橋 忠雄
国際 ロータリー 創立75周年	1980/ 5	ステーションホテル グランドホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「十勝の産業と水資源」 (畜大 西 武) ・「帯広の森」造成基金 100万円寄贈 ・帯広市開拓100周年記念 市制施行50周年 ・帯広開拓百年記念館(緑ヶ丘公園) 大ブロンズ像「大地と夢想」設立 帯広・帯広北・帯広西RC合同 会員 10,000円 3年間拠金 ・「21世紀へのロータリアンのメッセージ」 タイムカプセル埋設 	笠井 治男 杉田 長男 浅野 正治	西川 義正 小田豊四郎 (北RC)	大須賀良明

名 目	日 時	記 念 行 事		実行委員長	会 長	幹 事
		式 典	事 業			
創立50周年 (再開35周年)	1985/ 3	帯広東急イン 帯広市民会館	<ul style="list-style-type: none"> ・「記念講演」 元RI理事 松平一郎(東京RC) PDG 安野譲次(岐阜RC) ・記念誌 「帯広RC50年のあゆみ」発行 ・NHK公開録画 特別文化講演会 NHKチーフアナウンサー 鈴木 健二 「暮らしの再発見」 	田中 弘 亀井 利幸	栗山 篤二 井上 一男	浅岡 四郎
創立60周年 (再開45周年)	1995/ 3	北海道ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・記念講演 (株)キャノン会長 滝川 清一 「企業家のロマン」 ・「環境保全巡回車」寄贈 ・ロータリー財団 100万円 阪神大震災義援金) 寄付 	加藤 一夫	藤森 照雄	田 和夫
創立65周年 (再開50周年)	2000/ 5	ホテルノースランド帯広	<ul style="list-style-type: none"> ・記念講演 PG=三浦 裕晶(札幌南RC) 「私のロータリー」 	高橋 標	白石 俊之	後藤 裕弘
創立70周年 (再開55周年)	2005/ 3	とかちプラザ レインボーホール	<ul style="list-style-type: none"> ・記念講演 トーク & フルートコンサート 「癒しの旋律」 フルート奏者 山形 由美 ・消防指揮車寄贈 ・帯広市新図書館図書購入費寄贈 ・記念誌発行 	鈴木 樹	合田 修	加藤 維利



70th ANNIVERSARY OBIHIRO ROTARY CLUB



帯広ロータリークラブが ホストした主な地区行事

主催行事

- 1995～1996国際ロータリー第2500地区協議会
- 1995～1996国際ロータリー第2500地区会長エレクト研修セミナー
- 1999～2000国際ロータリー第2500地区第6分区都市連合会
- 2002～2003国際ロータリー第2500地区第6分区都市連合会
- 国際ロータリーガバナーの思い出 パストガバナー田村昇市

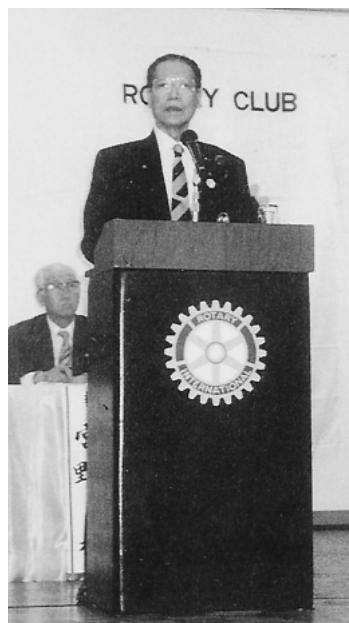
1995年～96年度国際ロータリー第2500地区

地区協議会

1995年5月14日 於：寿御苑

地区協議会のホストは、当クラブとして1962年4月24日、RI第350地区北海道全域、一地区の協議会を160名の出席で大谷学園で、又懇親会は帯広商工奨励会館に於て開催したのが1回目、次いで1980年6月29日、RI第250地区、地区協議会を602名の出席で帯広市民会館に於て開催したのが2回目。そして1991年5月12日、RI第2500地区、地区協議会を730名の出席で迎賓閣に於て開催したのが3回目、今度が4回目のホストであります。

次期、ガバナーの決定が1994年12月と遅れ、又帯広ロータリークラブ60周年記念式典が重なり、地区協議会実行委員会の準備期間が短期間でしたが、進藤恒彦実行委員長、柴田敏男実行委員会幹事の指導のもと会員全員一致団結し、進藤和行ガバナー、並びに田村昇市



次期ガバナー挨拶 田村 昇市

次期ガバナーのご指導のもと緻密な計画と周到な準備を進め、開催を迎えました。田村昇市次期ガバナー山川久明、清水幸彦、田巻寅三、大原信友、道下俊一、中原勇治、池内正人、秋永智徳、黒田一秀、長谷川晃三、七戸幸夫、田中弘、奈良尚久、矢坂康三、各バストガバナー坂本一ガバナーノミニー、次期ロータリーの友委員、地区分区代理、地区役員、地区委員長と出席義務者として地区内67RCから次期会長、幹事、クラブ奉仕、ロータリー情報、会



次年度を迎えるにあたって

員増強、職業奉仕、環境保全、青少年奉仕、国際奉仕、ロータリー財団、米山記念奨学各委員に事務局員の方々の参加総数800名余のもと、扇谷威司地区幹事の司会で10時、進藤和行ガバナーの点鐘で本会議が開催された。12時30分より分科会が第1～第7に分かれ15時30分迄行なわれた。16時から本会議を再開し、感謝状贈呈、地区資金報告、次年度地区委員会活動計画報告をし、17時10分閉会した。

17時30分より懇親会が開催され、和やかなうちに協議会で得たものを次年度への決意として胸に秘め、会員相互の友情を深め合っていた。



1995年～96年度国際ロータリー第2500地区

会長エレクト研修セミナー

1995年5月13日 於：寿御苑



地区協議会役員名簿

ガバナー	進藤 和行	委員長	進藤 恒彦
次期ガバナー	田村 昇市	副委員長	加藤 一夫
パストガバナー	山川 久明	幹事	柴田 敏男
"	清水 幸彦	副幹事	山下 英世
"	田巻 寅三	総務	中町 悅郎
"	大原 信友	S S A	松本 博和
"	道下 俊一	記録	柳沢 清仁
"	中原 勇治	文獻	橋 精三
"	池内 正人	登録宿泊	真理谷 武
"	秋永 智徳	会場	合田 修
"	黒田 一秀	交通	川口 未広
"	長谷川晃三	接待	林 博道
"	七戸 幸夫	懇親	道 吉見
"	田中 弘	食事	鈴木 康昭
"	奈良 尚久	救護	笠井 治男
"	矢坂 康三	会計	富士道昭憲
次期地区幹事	井上 一男	会計監査	牛来 仁
ホストクラブ会長	藤森 照雄	"	清野 耀
ホストクラブ幹事	土田 和夫	ソングリーダー	合田 修

実行委員会役員名簿

会長エレクト研修セミナーのホストとして1991年5月11日RI第2500地区会長エレクト研修セミナーを、地区内65ロータリークラブから123名の出席で帯広グランドホテルに於て開催したが1回目で、今度が2回目のホストであります。進藤和行ガバナー並びに田村昇市次期ガバナーの指導のもと地区協議会と並行して会長エレクトセミナーの実行委員会が編成され、進藤恒彦実行委員長を始めとし、会員全員が一致団結して緻密な計画と周到な準備を進めて当日を迎きました。

会長エレクト研修セミナーは進藤和行ガバナー、田村昇市次期ガバナー始め扇谷地区幹事ほか地区役員、次期分区代理、次期地区委員長、井上一男次期地区幹事ほか次期地区役員、地区内67RCの次期クラブ会長の方々の出席のもと扇谷地区幹事の司会で16時進藤和行ガバナーの点鐘で開会された。

会長エレクト研修セミナーのプログラムは「クラブ運営計画と会長の役割について」「ロータリー財団と米山記念奨学会について」「ロータリー情報（1995年規定審議会報告）」「会員増強と楽しい例会運営について」のテーマで8名のパートガバナーの講演で研修した。研修に先立って14時より地区役員、地区委員長の新旧合同懇親会があり、19時より合同懇親会を開催し、和やかなうちに次年度への決意を胸に友情を深めあった。



1999年～2000年度国際ロータリー第2500地区

第6分区 都市連合会(IM)

都市連合会「IM」のホストは当クラブとして1993年4月17日に次いで2回目であります。IGFのホストは過去4回行っています。昨年のIMで次期大須賀良明第6分区代理の紹介とIM開催地並びにホストクラブの発表がなされました。実行委員会は昨年8月に柴田敏男実行委員長のもと委員会が編成され、田巻ガバナー、田中弘、田村昇市バストガバナー、井上一男元分区代理並びに大須賀分区代理の指導、助言をいただきながら企画運営にホストクラブ会員全員が一致協力して準備を進め当日の開催を迎えました。



大須賀分区代理挨拶

都市連合会「IM」は13時、大須賀第6分区代理の点鐘で開催された。田巻ガバナー、長谷川晃三、田中弘、田村昇市バストガバナー、林茂ガバナーエレクト、第6分区ロータリーラン全員、総登録数610名の多数の参加を得、分区内外1ロータリークラブの会員が年に1度の懇親を深め、ロータリーを勉強する機会です。14時より中央大学名誉教授の小堀憲助先生の講演「21世紀のロータリーのあり方」そして15時10分よりカルビー株式



2000年2月26日 於：北海道ホテル

会社代表取締役社長 松尾雅彦氏の特別講演「陽はまた昇る、日本経済と十勝」と題して講演が行なわれた。

17時30分より懇親会「友情の宴」でなごやかにロータリーの友情を深めた。



IM 役員名簿

ガバナー	田巻 明男	委員長	柴田 敏男
バストガバナー	長谷川晃三	副委員長	杉田 長男
バストガバナー	田中 弘	副委員長	山口 和夫
バストガバナー	田村 昇市	総務	土田 和夫
第6分区代理	大須賀良明	会計	安西 信一
相談役元分区代理	井上 一男	宿泊登録	山岡 淑朗
ホストクラブ会長	白石 俊之	会場	片所 幸一
ホストクラブ幹事	後藤 裕弘	懇親	佐藤 有宏
		接待	加藤 一夫
		記録	田中 一郎
		救援	進藤 恒彦

実行委員会役員名簿

2002年～2003年度国際ロータリー第2500地区

第6分区 都市連合会(IM)

2003年3月8日 於：会 場 帯広市民文化ホール
懇親回会場 ホテルノースランド

都市連合会「IM」のホストは当クラブとしてIGFのホストは過去4回、IMを2回行なっています。昨年のIMで鈴木樹ガバナー補佐（今年度からガバナー補佐制度が正式に制定された）の紹介と、次期IM開催地並びにホストクラブの発表がなされた。昨年9月帯広ロータリークラブ全員参画、総力結集を基本として高橋標実行委員長のもと委員会が編成され、小船井ガバナー、田中弘、田村昇市バストガバナーの指導助言並びに鈴木樹ガバナー補佐の素晴らしい指導力、そして細かい気配りと率先実行のお蔭で実行委員会も一致協力して準備もスムーズに進み当日の開催を迎えた。

都市連合会「IM」は13時、鈴木樹ガバナー補佐の点鐘で開催された。小船井ガバナー、長谷川晃三、田中弘、田村昇市、林茂バストガバナー、第6分区ロータリーアン総登録数590名の多数の参加を得、年に1度ロータリーアンが一同に会して、お互いの親睦と交流を深め、ロータリー情報を充分に吸収して、ロータリー精神の昂揚を図る唯一の場であります。14時よりRI会長代理を何度も務められ、輝かしいロータリー歴を歩んで来られた道下俊一バストガバナーの講演「ロータリーに未来はあるのか」15時より特別講師としてTV



等を通して著名なジャーナリスト、須田慎一郎先生の「現下の国際情勢に鑑み、これからどうなるのか日本経済」と題して講演が行なわれた。

17時40分より会場をホテルに移して懇親会「友情の宴」が和やかなムード爽やかな音楽をバックにロータリーの友情を深めた。



IM役員名簿

ガバナー	小船井修一	委員長	高橋 標
バストガバナー	長谷川晃三	副委員長	大滝 欽也
バストガバナー	田中 弘	副委員長	合田 修
バストガバナー	田村 昇市	総務	清水 茂彰
バストガバナー	林 茂	会計	竹川 博之
ガバナー補佐	鈴木 樹	会場	高橋 猛文
ホストクラブ会長	真鍋 智紀	親睦	木村 裕氏
ホストクラブ幹事	奥 周盛	接待記録	矢野 治夫
		救護	佐藤 真康
		司会	進藤 恒彦
		ソングリーダー	伊藤 征一
			小枝美奈子

実行委員会役員名簿

国際ロータリーガバナーの思い出

バストガバナー 田村 昇市

1. ガバナーになるまで

2500地区のガバナーを勤めたのは、1995年～96年の年であった。ガバナー候補に推薦してくれたのは、故杉田長男氏であった。帯広クラブほかの3クラブのボスが猛烈に推薦してくれたので、難行苦行で決定は12月24日のクリスマスの祝日であった。地区幹事は親戚の故井上一男さんで、自家の事務所の3階を解放してくれた。月信担当は竹中脩介、大和昭一両氏で見事な編集をして頂いた。表紙の写真はクラブ会員の莊田喜与志氏で、十勝の名所、とくに日高のカールなどの素晴らしい写真を提供して頂いたので、立派な報告書となった。会計は小沼龍一氏、副会計は金沢幹士氏で事務職員は坂本久子さんで、彼女は3回目の超ベテランであった。副幹事は真鍋智記、清水宣孝、安達 嶽の3氏であった。地区財務は矢野治夫氏であった。

公式訪問担当は社長さんばかりで、随行ができないので、小生の家内の幸枝が暇なので、ワープロ持参で参加することになった。二人とも

車の運転ができないので、地区の分区代理、会長、幹事らが順次運転してくれた。

2. クラブ訪問

第一分区の木越信雄さんが利尻島、礼文島の3クラブの訪問を助けて頂いた。島のウニ丼のご馳走は忘れ難い。利尻島は家内の生まれ故郷で、大歓迎を受けた。

朝5時に起床して、前日のクラブ報問記をワープロでまとめて東京に報告した。10時に次のクラブに出かけた。

オーツク海沿岸で毛ガニ・タラバガニ・帆立て貝などの海産物が多く採れるのは、砂浜が伸びた海岸が広がっているからである。砂浜に足?を出して産卵できるからである。アムール河の養分と水が海洋生物を育てている。

この地区は重粘土地帯で、土壤学者と農学者を悩ませた地帯である。現在は酪農業と魚で栄えている。

第2分区は田邑分区代理であった。彼は私と同じ宗派の寺の住職だったので、かれの寺にお参りして旅の安全と成功を願った。このお陰で大事故に会わずに仕事ができた。枝幸クラブの幹事さんはホームドクターで、ご夫婦と現在も交流をしている。タラバがにと毛がにのご馳走に預かり楽しい日を過ごした。

3. 釧路で倒れる

釧路で脳梗塞にかかった。右足と右手が動かず、ホテルで家内にマッサージを受けて頑張ったところ、やあっ



と元に戻った。

釧路が終われば十勝だけになるので、気持ちが緩んだためと思われた。長旅の連日のご馳走で血がドロドロになったようである。

4. 大会と宴会

ガバナーに決まったのが12月24日だったので、市内の会場はなしで、音更の会場を確保してくれた。東クラブが世話をしてくれた。音更会場は狭いので、Bホールとテレビで結んでおこなった。音響の響きが良いホールで快適に進行した。宴会は 笹井温泉ホテルで行われた。食事がでるとワード群がり、食べる物が亡くなつた。後で道下PGなどとラーメンを食べてホッとした。

5. 最高の思い出

ベネファクターを地区から140人集めた功績を表彰するとの事で、別室に集められた。財団理事長が小生を抱えて抱擁して、功績をたたえてくれた。名誉の盾を頂き感激した。

6. 國際大会

八坂ガバナー時代に台湾で国際大会が開かれた。台湾の飛行機が日本で着陸に失敗して、多くの犠牲者を出した。この台湾の飛行機で2500地区のメンバーを台湾に輸送するという。決死の覚悟で搭乗した、正規運転手2名での運行で無事に出かけられた。台湾は楽しみの多い大会であった。

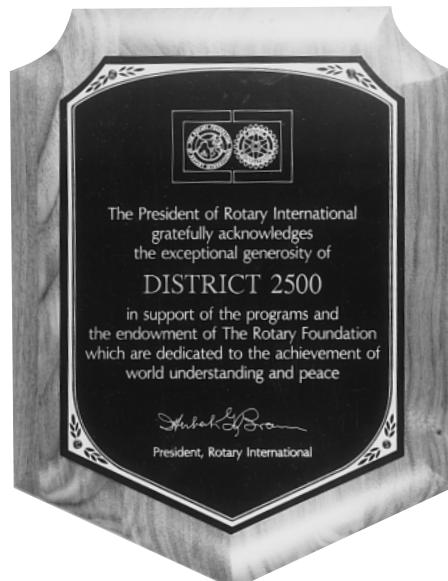
ガバナーノミニーの時はフランスのニースで国際大会が行われた。ニースは世界大会のメッカで、運営、観光など100%の大会で、一同楽しんだ。ニースの名物花祭りパレードは素晴らしい一同楽しんだ。

カナダのカルガリー市での国際大会。冬期オ

リンピックのスケート会場が大会場になった。カナダの大自然は素晴らしい、氷河の散歩、熊が側まで出てくる。氷河湖の美観にわれを忘れる。かっての日高も氷河時代があったことを思い出した。(2005年3月18日)



「R I 会長と共に」(1995年)
(左から)田村幸枝、ブラウン婦人、ブラウンR I 会長、田村ガバナー



「2500地区へ栄光の盾」(ベネファクター)
受領田村昇市ガバナー

歴代会長の思い出

ロータリーの思い出

1994~95 会長 藤森 照雄 Teruo Fujimori

私の年度 ピル・ハントレーR I会長は「友達になろう」をR Iのテーマとして掲げられました。進藤地区ガバナーは「クラブ全体が眞の友達になり周囲の人々からニーズを求めささやかでも続けよう財団への協力」とターゲットを示されました。

R Iのテーマは私に取りましても我が意を得たテーマであり、私は会長就任の第一歩を60周年にふさわしいロマンと活力を、そして新しい息吹と流れを創造し夢見ながら、ロータリー歴の若い方、又転勤族と言われる方々にも委員長をお願いし、ご活躍を頂きました。



年当初、会長方針として次の4項目について特に強調し皆様に協力をお願い致しました。

- (1)心と心のふれあいを大切に、クラブ全体が眞の友達になろう。
 - (2)全員参加による委員会活動の推進を計ろう。
 - (3)青少年に対する奉仕活動の強化と、財団への協力を計ろう。
 - (4)クラブの総力を挙げ60周年記念式典を大成功させよう。
- であります。

此の1年、各委員会の皆様方には夫れ夫れ力一杯の奉仕活動を実行して頂き、更には独創的な企画をもって事業を推進するなど、奉仕活動に多大なる成果を収める事が出来ましたことは私に取りましてこの上ないよろこびであり感謝の気持ちで一杯であります。

顧みますと、クラブ創立60周年記念式典を大成功させようとの願いのもと、加藤実行委員長を中心、各事業委員会の皆様方による精力的な2年有余に亘る周到な準備を重ねて頂き開催することが出来ました。



さすが帯広クラブさん、式典、記念講演、懇親会等申し分のないすばらしい式典であったと皆様方から賞賛の言葉をいただきました。

この式典にあたり、遠く京都東ロータリークラブ、並びに埼玉県の吉川ロータリークラブからも友好の参加を頂きました。

これからも友好の輪が、末永く更に広がることを願わざにはおられません。

この年度、会員の皆様方に、大変ご心配をおかけしましたのは、前年暮れまでの決定が遅れ、日本中のロータリアンから注目と关心を集めました、2500地区の次期ガバナー問題であります。

途中の過程に於いて色々とアクシデントもあり、重大な決意も強いられましたが、帯広クラブ理事会はロータリアンとしての良識ある判断と決断で、2500地区の窮地を救い帯広クラブとして3人目の田村次期ガバナーを誕生することができました。

この事により、予定になかったPETS、及び地区協議会の開催をクラブとして急遽開催する運びとなり、60周年記念式典終了後から本格的な準備活動が行われ、2ヶ月余という厳しい日程と各種の悪条件の中で、進藤実行委員長さんを中心に各実行委員会の皆様方の昼夜に亘っての懸命なご協力により、無事終了することができ、参加800余名の皆様方からよくやった、本当にすばらしい協議会運営であったと大変ありがたい評価とおほめの言葉を頂きました。

「情報・雑誌委員長合同セミ



あらためて帯広クラブの歴史の重みと友情の絆の強さを感じさせられました。

私にとって会長在任中、帯広クラブ60

周年という輝かしい歴史のひと駒を刻めたことは、いつ迄も良き思い出となることであ리ましょう。

至らぬ私を支えご支援下さいました帯広クラブ98名の皆様方に、重ねて心からお礼を申し上げペンを置きます。

Memories



輝く年輪、育て大きく

1995 96 会長 高橋 標 Hyo Takahashi

1995年3月に帯広RCの創立60周年記念式典が厳粛且つ盛大に行われ、その感激と興奮が未だ覚めやらぬ気持で、私は同年6月にニースでの世界大会に初めて参加しました。会長エレクトとして大事な時期でしたが、幹事予定の杉山三明さんははじめ理事予定者達の暖かい友情と厚意に感謝しながら初めての世界大会を十分味わい、ロータリーの国際的雰囲気に心身共に洗礼されて帰国し、充実した気持ちで新年度に臨んだのでした。

それ以前、地区GNは新年度、わが帯広クラブの田村昇市先生に決定していたので、GN事務所は西1南11の井上ビルに設け、地区幹事井上一男さんをはじめとする副幹事6名の地区役員は、当然のことながら帯広クラブから選出し、わがクラブとしてもGNを協力にパックアップする体勢で勇躍新年度がスタートしました。

田村GNを擁するこの年度の帯広RCは、地区の要となる立場で、その責任の重大さを自覚しながら更に会員相互の結束と融和を深めるべく、会長としての年度のテーマを「誠意と友情、信頼の絆」とし、文字どおり誠心誠意努力するよう心掛けました。

この年度の役員人事の中で特筆すべきは、帯広神社宮司の故大野三代治さんが会計を自ら進んで引き受けられたことです。彼は全国神官青年部やボイスカウトの役職なども精力的にこなし、一見豪放落落に見えて几帳面で細かい気配りがあり、会計という重要なポストを杉山三明幹事と息の合ったコンビで見事に果たしてくれました。しかし惜しまるくは、酒豪だった彼は間もなく肝臓病に侵され、数年後天逝されたことは大変残念に思えてなりません。

柴田副会長をはじめ役員理事及び各委員長諸兄には皆快く受けて頂き、会長として充実した1年間を過ごせたことを心から感謝しております。

1968年以来、長い間例会場として使用してきたステーションビルが、鉄道高架による駅前区画整理の

歴代会長の思い出

ため取り壊されることになり、検討委員会で対策を審議した結果、翌年度は北海道ホテルにお世話になりその後はJRが新しく建てる駅隣接のホテルノースランドにお願いすることになりました。

29年間馴れ親しんできた例会場も私の年度で最後となってしまい、最終夜間例会はサヨナラステーションホテルを兼ねておおいに盛り上がり、思い出深い最終例会となりました。

この年度は会員増強も著しい成果を上げ、初めて100名を超えることが出来ましたし、特に鈴木樹米山奨学委員長は目覚ましい成績を上げ、地区内一の帯広クラブの実績の上に更に花を添えてくれました。

年度の終盤に、友好クラブの京都東クラブ創立40周年に「古都千年のツアーハン」銘うってご夫人方も交え、一行15名で記念式典に参加したことは大変感慨深く、楽しい思い出になりました。

私は帯広クラブの創立40周年の時からソングリーダーを務めて来ましたが、60周年の時からは合田修さんに引継ぎ、彼の若さなら100周年も立派に現役で務まるだろうと冗談交じりに言ったものでしたが、その彼も会長職となり、ソングリーダーも小枝美奈子さんに替わったわけで、時代の移り変わりをつくづく感じます。

帯広クラブの創立70周年、ロータリーの創立100周年を迎える今年度を大きな節目として、輝く年輪が更に大きく育っていくことを心から祈念致します。

2004年10月31日



Memories

歴代会長の思い出



1997~98 会長 柴田 敏男 Toshio Shibata

- ・会長 柴田 敏男
- 副会長 橋 清三
- 幹事 星屋 洋樹
- ・R I会長 グレンW・キンロス
- 第2500地区ガバナー 梶浦 利和
- ・テーマ
　キンロス R I会長 「ロータリーの心を」
　梶浦2500地区ガバナー「勇気と信念で行動しよう」
　柴田帯広 R C会長 「善意と友情、奉仕の輪を」
- ・ロータリアンは専門職務者及び管理職にある経済人であるので、例会は有意義かつ楽しいことを目指すことに務めた。(注)
- ・ロータリーの奉仕は「善意」であり、善意は社会生活、事業経営並びに国際活動の面で生かされねばならない。1人1人のロータリアンの奉仕の灯を掲げることに努めた。
- ・世界社会奉仕事業の一端として、「チベット自治区に学校建設資金」の贈呈、以後8年間継続された
A. 1997.10月3-5 於 北見市民会館 29名出席
B. スナップ写真 会場内にて

(注)経営に関する主な卓話

- 1) 土光敏男氏の言葉
- 2) 堤康次郎と奉仕
- 3) 本田宗一郎
- 4) 井深大氏の探求の89年
- 5) カーネル、サンダースの成功への道のり
- 6) 田園調布の開発史
- 7) 株虎屋の決断
- 8) ササの葉のお話し
- 9) フルブライトと留学生について
- 10) 最も大切な人間の在り方(稻森和夫)



Memories



奉仕の心、夢をもって行動を

1998-99会長 矢野 治夫 Haruo Yano

1998-99年度。会長を拝命したのが丁度5年前になります。歴史と伝統の上に立つ帯広ロータリークラブの会長職の責任の重さ、会員90数名の頂点に立って、リーダーシップを發揮する事が果たして出来るか、不安が先行して、逃げたい心理が強く働いていたところ故井上一男会員（JC入会時の推薦者）に、ロータリーを知る為には、会長を引き受けるべきであるし、任期1年はあっと言う間に過ぎ去って行くものであるし、人間的に大きく成長するチャンスであるから是非引き受けなさいと強い説得を受け、やろうと云う決断を致しました。人間のもっている潜在能力は通常30%しか出してないと云うのであれば、自分のかくれた潜在能力は少しは残っているだろうと考え、恥をしのんで、自信をもって一年間努力しようと考えました。1998-99年度R I会長ジェームス・レイシーのR Iテーマ「Follow Your Rotary Dream」ロータリーの夢を追い続けようとロータリー活動の指針として示されました。私も日頃から夢（目標）はたゆまない努力によって実現すると云う考え方を人生の中で、持ち続けておりましたので、帯広RCのテーマにつきましては「奉仕の心、夢をもって行動を」で一年間の事業計画を立て、7項目を出させて戴きました。

1. 環境保全に取り組もう。
2. 青少年問題について取り組みを考えよう。
3. 例会を通じて会員相互のコミュニケーションを計ろう。
4. ロータリーの行事に対し積極的に参加をしよう。
5. 会員一人一人の会員増強への意識をもとう。
6. 地域社会の中で実のある奉仕活動を考えよう。
7. ロータリー財団米山記念奨学会への積極的な協力をしよう。

以上の目標のもとに一年間、クラブ活動を推進した中で各担当の委員会の努力により、7項目の事業計画が有意義の中で消化する事が出来ましたのは、

歴代会長の思い出



会員皆様のご協力によるものと感謝致しております。又、此の年は市内5RCの当番幹事で、帯広市内5RCと会長幹事会3回を行い、5RC諸経費分担率についても協議をし、帯広5RC会員名簿の作成、ガバナー公式訪問例会を合同例会にするなどを決定しました。

又、世界理解月間に因んで帯広5RCと合同例会を1999.2.17、ホテルノースランド帯広に於いて釧路公立大学教授柴崎嘉之氏を招いて「市場経済化がすすむロシアや東欧の事情」をテーマにした講演会を開催し、合同例会が成功裡に終える事が出来ました。

又、一年間を通しての主な理事会の決定事項については

1. 会計監査に高橋忠夫会員を選任
2. 翌々年度会長指名委員会設置し、加藤一夫委員長、役員、理事 計13名に決定する。
3. 翌々年度会長鈴木樹会員に決定する。
4. 記念事業積立金として100万円の積立を決定する。
5. 帯広RC細則第2条の変更について

第2条理事会

本クラブの管理主体はクラブの会員13名以内により成る理事会とする。即ち本細則第1条第1節に基づいて選挙された5名の理事、会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計、会場監督及び直前会長である。以上、理事会で決定する事が出来た。

5年前を顧みて、自分としては残り少ない潜在能力？を何とか引き出しながら頑張ったつもりでおりますが、何せ一人の能力には限界があります。いつも私のそばで繊細な神経と行動力で「迷」会長を支えて戴きました合田幹事さんには特に助けられました。又、理事、役員、会員の皆様方の暖かい友情に対しては一生忘れる事は出来ません。

以上

Memories

歴代会長の思い出



創立65年の歴史の喜びを会員とご夫人とともに

1999~2000 会長 白石 俊之 Toshiyuki Shiraishi

昭和31年、帯広RC奨学生として、年3回6年間例会に参加させて頂き、ロータリーの精神、哲学の一端を学び、当時ロータリー原理主義を信奉する諸先輩から講話を戴いたのが私の精神構造の礎になっております。

昭和52年、歴史ある当クラブへの入会が許可され、多くの理事、委員長を経験し、1999~2000年度の会長に推挙されたことは、感慨深いものであります。ただ、医療界という狭い視野で育った私は人脈に乏しく、実行力、行動力に欠けているため、幹事として後藤裕弘氏の協力を得ることが出来たのは幸いであります。彼の見識、行動力には敬意を表し心から感謝しております。

委員長の人選は、幹事のご示唆により、今まで転勤の可能性から就任依頼を避けていた人材の宝庫である出先機関のメンバーから8名の委員長、7名の副委員長を依頼し、その能力を発揮して戴き活力ある運営が出来たと自負しており、ご転勤後には感謝のご挨拶状を戴きました。

次いで、会長挨拶は、内容を800字に限定し、例会開催前に生原稿を会報担当者に渡すことにより委員会の負担の軽減に協力を行い感謝はされたが、生来、冗舌な私にはかなり苦痛であり、ストレスもありました。

この年度における特筆すべき大きな行事は、大須賀良明分区代理が主宰されるIMと、帯広クラブ創立65周年記念式典が挙行されたことです。

ただ、65周年という周年行事は帯広RCに先だって創立した各地のクラブではいずれも開催されておりませんが、当クラブにおいては会員の意欲と希望がおおく、時節に合わせてささやかではありますが会員とご夫人を中心に65周年の歴史を喜ぶ有意義な式典の開催を決意しました。

IMは平成12年2月26日に柴田敏夫実行委員会の

下で、創立65周年記念式典は平成12年3月12日に高橋標実行委員長の下で厳々と開催され、帯広クラブの存在の歴史を確認することができました。私にとりまして錦上花を添えたのは、記念講演の講師として2510地区のパストガバナーであり、北大医学部皮膚科学名誉教授であり、私には恩師であります三浦祐晶様のご講演を戴いたことであります。

ただ、これらの大行事を前にして12年2月8日に脳梗塞で倒れ、入院を余儀なくされたことです。突然の病とはいえ、両実行委員長には大変お世話になりましたが、良い思い出としてのこるよ」と教えられておりましたが、私にとりましては悔悟の多い思い出になっております。



ロータリーにおいて数多くの格言、箴言がありますが私にとりましてもロータリーを理解出来るのは「ロータリーの考え方の原点は崇高な思想、哲学の普及よりも、人間社会における普遍的な良心を社会に再認識を求めるものである」という言葉であります。

(ポールハリスへの献辞から)

Memories



輝ける歳に

2000 01 会長 鈴木 樹 Tatsuru Suzuki

日増しに、春風と共に優しい陽射しが街路樹を照らし、心和む季節と成りました。関係各位の皆様方に於かれましては、ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さて、思い起こせば2000~2001年度当時、フランク・デブリンR.I.会長は『意識を喚起し……進んで行動を』をとテーマを訴えられ、又、第2500地区、高林 茂ガバナーは『積極的な奉仕の実践を』と方針を述べられ、帯広ロータリークラブの私、鈴木樹は『温故知新』<先人に学び 新たなる歴史を刻み 真の奉仕は潮流の扉を拓く>と宣言をさせて頂きました。

今、走馬燈の様にあの一年間が脳裏を駆け巡って参ります。諸先輩や理事、正・副委員長、そして各委員会メンバーのお一人お一人と真剣に向い合い、やがて訪れる有ろう新年度まで、確りと引き継ぎ、歴史と伝統に培われた我が帯広ロータリークラブの名に恥じぬ様、皆様と共に全力でぶつかって参りました事、一つ一つが誇りに思っております。

7月、ノースランドホテルで行われた例会は、住民の皆さんも含め、800名にも及ぶ、参加を頂き、前回のシドニー、昨年のアテネオリンピックのゴールドメダリストの『ビッグゲスト』柔ちゃん事、田村亮子選手（当時）<現・谷亮子氏>と全日本女子監督、山口香氏をお招きした素晴らしい例会のスタートでございました。更に、クリスマスパーティは



200名を超える大懇親会……、
压巻でございましたし、我がクラブ初の女性

歴代会長の思い出

会員の入会を含む、17名の会員純増。6月末の例会時まで92%の出席率。そして、6月20日の何と100%、出席を達成した見事な例会、財団への寄付等々、前後は致しますが、子や孫、家族と共に過ごし、楽しかった野遊会等々、私にとりまして本当に充実した一年でございました。担当委員会の皆様方の努力と情熱には、今更ながら頭が下がる思いと感謝の気持ちで一杯でございます。

その間、温かく見守って下さり、時には助言を賜りました、諸先輩の皆様には、改めまして、お礼を申し上げたいと存じます。

正しくあの一年間は権利と義務が表裏一体と成り、第2500地区内一のクラブで有り、『温故知新』先人に学び、新たなる歴史を刻み、真の奉仕は潮流の扉を開いた年で有ったと再度、宣言をさせて頂きたいと思いますが、決して到達点では無く、通過点、出発点でございます。

非力な私に対し、お寄せ頂いた、数々のご鞭撻に心より感謝しつつ、今後の益々の発展とご活躍を確信し帯広ロータリークラブ創立70周年に寄せる言葉と致します。

平成17年3月吉日



Memories

歴代会長の思い出



問われているロータリーの役割

2001 02 会長 林 光繁 Mitsushige Hayashi

21世紀を迎えた北海道は、大転換期に入りました。開道以来の「北辺防衛の拠点」「資源供給基地」としての役割を終え、完全に自立を促されていました。にもかかわらず北海道庁は「試される北海道」のスローガンを出し、悠長に構えていました。私は130年間の北海道の「モラトリアム」(猶予期間)は終わらったのだから自ら行動を起こす時と考え、「知行合一」を目標に掲げました。

中国の思想家・王陽明の根本理念「第一に志、第二に冷静な情勢判断と的確な戦略戦術を立て、物事に対処せよ」ということです。ロータリーの創始者の一人ポール・ハリスが当初から言っていた「I Will」(私は、必ずやってのける)と「知行合一」は相通じると判断したからです。

活動方針は

専門職業人としての道徳的水準の向上

会員の親睦

ロータリーのイメージアップ

会員増強の4点。

道徳水準の向上では、新入会員へのオリエンテーションの強化、ホームページを作成して方針、行事の徹底を図りました。当初42人だったアドレス保持者が過半数を占める55人になりました。

親睦の中心行事は、家族野遊会(9月30日、サホロ)、年末家族会(12月12日、北海道ホテル)でしたが、各々170人、200人の出席があり、盛況でした。とくに、年末家族会では、「清しこの夜」の聖歌を合唱しました。当時のリチャード・キングR I会長が牧師で、チャールズ・ディッケンズの「クリスマス・キャロル」を引用して、奉仕の大切さを説いたので、歌うことにしました。歌と共に会場には、素晴らしい雰囲気ができ上がり、楽しい夕べになったことは、忘れられません。

イメージ・アップ即ち、ロータリーを住民に理解してもらうことは、なかなか困難な仕事です。私が新聞社の社長だったことから、行事はできるだけ新

聞に掲載するようにしました。何といっても、効果があった事業は、平成14年3月16日、十勝毎日新聞の11ページに全面広告を出したことです。

当時在籍していた102人全員の顔写真と肩書、名前を載せ、「ロータリークラブは世界最大の奉仕団体であり、NGO(非政府組織)であり、NPO(非営利組織)であり、NRO(非宗教組織)です」のキャッチフレーズでアピールしました。「四つのテスト」「新会員募集」「国際親善奨学生募集中」も掲載。

たくさんの市民から「ロータリーってNGOなの」「すごいメンバーがそろっているね」 - と、声を掛けられました。

会員増強は難しい事業でした。不景気の中で退会が多いからです。しかし、かろうじてスタート時の105人は維持しました。鈴木樹前会長を始めとする会員皆さんの力の結集のお陰です。

それにしても、地域の危機がさらに深まっているにもかかわらず、住民はもとより経済界、行政に深刻さが見られないのは何故でしょうか。中央企業に搾取され、経済基盤がスカスカになりつつある上、人口減が始まっています。知的経済人の集団としての役割、即ちロータリーの役割が今、問われています。



平成14年3月16日、
十勝毎日新聞に掲載
したイメージアップ
の全面広告

Memories



歴代会長の思い出

帯広ロータリークラブ70周年にむけて

2002 03 会長 真鍋 智紀 Tomonori Manabe

帯広ロータリークラブが70周年記念を迎える事は会員すべての最大の喜びと言えましょう。1935年（昭和10年）3月15日に創立総会が行われて以来70年間の歴史と伝統が積み上げられ今日に至った事実は、素晴らしい事です。創立当時の帯広市は、人々は経済的にも精神的にも決して豊かではなく、人口は現在の5～6分の1の小さな「市」であったが、「ロータリークラブの理念を深く理解し実践す



べき」と言う固い信念を持ち決意し実行したものと思われる。この様に当時は社会状況は日本国内はもとより世界中が様々な

変化の連続であり、その都度歴代会長を始め理事、役員、諸先輩は、その対応に想像外に苦労され今日が築き上げられたものと思われます。この様な事を思い起こすとその御苦労には本当に頭が下がる思いです。

さて、私達は今を去る10年前に創立60周年記念を行いましたが、早いものであれから一ヶ月の時間が経過したのには驚かされます。私も2002年～2003年度にはこの帯広ロータリークラブの53代目会長を務めさせて戴いたのですが、常々私の性格上、前に立つ事の苦手な私は、1年半少々前に指名を受けてからというものその責任の重たさを痛感し、たゞたゞ今迄築き上げて来た歴史と伝統をけがす事のない様にと夢中だったのと、任期を終えた時の満足感は勿論、この間の経験は私にとって素晴らしい体験でした。初代ガバナー米山梅吉氏は「ロータリーの例会は人生の修養道場である」と表現されましたが、その引用で言うと“待望の試合の相手に勝った思い…”

と言っても過言ではない。事実、ロータリークラブの組織は大学の運動クラブよりはるかにすべてが難しいと思われる。それだけにやりがいがあった。

当時、私は時代のニーズを元に課題を『緑の環境は生物を癒し、人間社会は「礼」で成る、共に和の道…』と「ロータリー目的とサービス」にある自分の職業を通じての「奉仕の理想」を目的として両面から定めた。出来るだけ緑に関する事業をし、併行しロータリー運動の出発点である「親睦活動の基礎」であり現代社会に最も欠如している「礼節」を元にさせてもらいました。とにかく当時の幹事をはじめ理事、役員諸兄、そして会員は恒に私の知識のおぎないをして下さり何とか、この帯広ロータリークラブの会長を務めさせて下さり「一頁」をとじさせていただき感謝の一言につきます。又嬉しい事に後継の高橋会長、そして現・合田会長共に、緑の事業を続けてくれてありがとう。これからも我々ロータリークラブのみならず日本国内は勿論、世界中でも最も重要な事業として行われるでしょう。ある学者はこのままでは生物が100年位しか生きられない……と言っている。大気、地球の天変地異が世界中で起きている。自然災害や人間同士の異常な戦い……、残念である。今こそロータリーの出番ではないだろうか……。

帯広ロータリークラブ70周年を会員総意の元に成功させ、さらなる発展をさせようではありませんか…!!



Memories

歴代会長の思い出

会員相互の融和から

2003 04 会長 高橋 勝坦 Katsuhiro Takahashi

ロータリーが1905年、4人の友人と語らって誕生してから100年、1935年帯広ロータリーが誕生してから70年目を迎える目前の年に会長年度となり、どのようにしてその記念すべき年を迎え、又、そのムード作りとロータリーの歴史と伝統を次の時代に語り継ぐかが大きく心にありました。

特に帯広ロータリークラブとしての崇高な精神伝統が脈々と引き継がれ、地域に密着した中で今日のように発展した訳で、創設期よりのそれぞれの年度の会長・会員の大変なご苦労の中で歴史が刻まれ、継続され、さらにこの記念すべき年を節目として発展していく思いであります。

2003年～2004年度のジョナサン・マジアベ国際ロータリー会長のテーマは『手を貸そう』であり、豊島弘通地区ガバナーの課題は『あなたは、なぜ、ロータリーに入ったか』がありました。私もその目標にそって『初心、奉仕の心を育もう。虚心坦懐』として、会員相互の融和、地域社会の奉仕活動等を中心一年を歩みました。会員相互の融和では、特に各委員会内の親睦を図ることによりロータリーが語り継がれる訳ですし、新しい会員についても早くロータリーに馴染む事ですので重点をおきました。各委員会がそれぞれ活発に行動されて素晴らしい内

容での実績が挙げられたと思います。

年度の思い出としては、当年度の5月23日はRI国際大会が大阪で行われ、帯広クラブから18人の会員が参加し、国際的雰囲気を肌で感じロータリーの素晴らしさを実感出来た事が大きな想い出として残りました。9月に予定しておりました当クラブの大きな年中行事の一つである家族野遊会が前日の十勝沖地震により、目的地を広尾海岸からクラブ奉仕理事の清水茂彰理事の会社駐車場をお借りして、目的を大きく変更し急遽行う事となり、親睦委員の皆さんには大変なご苦労をお掛けし、なんとか出来た事。又、季節感を味わうため素晴らしいクラブの仲間と思い出になればと思い、北海道ホテルでの夜桜例会を行い、桜の開花がとても美しかった事。又、クリスマス家族会、第2900回記念夜間例会、ADHD懇話会講演会の後援、新世代の為のDVDビデオ鑑賞例会『性教育・SEXってなに!!』など、とても爽やかな取り組みもありました。悲しい思い出は、入会40年、長年御指導いただき、帯広ロータリークラブ発展にご尽力されました杉田長男元会長、井上一男元会長の他界が忘れられません。

帯広ロータリークラブ54代目会長として、この一年間幹事を始め理事・役員・各委員会長・会員皆様の友情あふれる絶大な御支援によりまして、無事務めさせていただきました事に厚く感謝申し上げ、70周年を節目とし更なる当クラブの発展を心から祈念致します。



世界大会の参加者。
大阪ドーム会場前にて。

Memories

70周年記念特集

スナップ写真

懇親会プログラム

御来賓名簿

実行委員会組織

式典プログラム

祝電名簿

登録者名簿

70周年記念式典

Commemoration feature



70周年記念式典

Commemoration feature



70周年記念式典

Commemoration feature



祝賀会

Commemoration feature



祝賀会

Commemoration feature



祝賀会

Commemoration feature



祝賀会

Commemoration feature



祝賀会

Commemoration feature



70周年記念式典

日時：2005年3月6日(日) 会場：とかちプラザ／レインボーホール

『式典』プログラム 13:00～14:20

1. 点 鐘 会長 合田 修
2. 開式の言葉 式典委員長 大和 昭一
3. 国歌斉唱 ソングリーダー 小枝美奈子
4. ロータリーソング 奉仕の理想 "
5. 来賓紹介 会長 合田 修
6. 参加ロータリアン紹介 "
7. 物故会員追悼
8. 式 辞 実行委員長 鈴木 樹
9. 歓迎の言葉 会長 合田 修
10. 感謝状盾贈呈(札幌ロータリークラブ様へ) "
11. 功績賞盾贈呈(創立60年以降会長へ) "
12. 記念事業発表 記念事業委員長 高橋 猛文
13. 記念事業目録贈呈 実行委員長 鈴木 樹
14. 祝 辞 国際ロータリー第2500地区ガバナー 牧野 了泰 様
帯広市長 砂川 敏文 様
札幌ロータリークラブ会長 松本 健三 様
15. 祝電披露 式典副委員長 渡辺喜代美
16. 閉式の言葉 副実行委員長 高橋 勝坦
17. 点 鐘 会長 合田 修
18. 諸事お知らせ SAA 片所 幸一

祝賀会

日時：2005年3月6日(日) 会場：ホテルノースランド帯広

『祝賀会』プログラム 16:30～18:10

1. 開場 祝賀会BGM (ピアノ&ヴァイオリン)「牧野夫妻」の演奏
(郷土芸能)「平原太鼓」の皆さん
2. 開会宣言 祝賀会委員長 和田 賢二
3. 会長挨拶 会長 合田 修
4. ガバナー補佐挨拶 第6分区ガバナー補佐 柴田 和明 様
5. 乾杯 帯広商工会議所会頭 岩野 洋一 様
6. アトラクション (郷土民謡)「Muじょん」の皆さん
(プロ歌手による弾き語り)「森崎ひとみ」さん
7. 実行委員長挨拶とご紹介 実行委員長 鈴木 樹
70th ANNIVERSARY
OBIHIRO ROTARY CLUB
帯広RC会長エレクト 星屋 洋樹
第2500地区ガバナーエレクト 合田 賢二 様
8. アトラクション (チアリーディング)「有沢真美子とレッドダイヤモンズ」の皆さん
9. ロータリーソング 手に手つないで ソングリーダー 小枝美奈子
10. 万歳三唱 第2500地区パストガバナー 小船井修一 様
11. バルーンドロップ
12. 閉会宣言 祝賀会委員長 和田 賢二

祝電をいただいた方のご芳名

経済産業大臣	中川 昭一
参議院議員	中川 義雄
北海道議会議員	清水 誠一
北海道議会議員	大谷 享
北海道議会議員	小野寺 秀
北海道十勝支庁長	近藤 光雄
帯広ライオンズクラブ会長	藤井 勇 (他会員一同)
帯広平原ライオンズクラブ会長	大野 孝之
札幌ロータリークラブ会長	松本 倭三
大田ロータリークラブ会長	笹井 信夫 (RI2690地区)
RI2500地区バストガバナー	秋永 智徳 (1987-88年度)
RI2500地区バストガバナー	七戸 幸夫 (1990-91年度)
RI2500地区バストガバナー	清水 哲也 (1998-99年度)
RI2500地区 2005~2006年度ガバナーエレクト	合田 賢二 (帯広北RC)
RI2500地区 2006~2007年度ガバナーノミニー	小野 哲 (紋別港RC)
RI2500地区 第2分区ガバナー補佐	吉野 祐益 (名寄RC)
旭川ロータリークラブ会長	東藤 弘志
旭川西ロータリークラブ会長	鷺塚 紀夫
稚内ロータリークラブ会長	大和 晃
遠軽ロータリークラブ会長	西崎 善文
旭川北ロータリークラブ会長	西館 勝友
稚内南ロータリークラブ会長	田辺登代二
紋別港ロータリークラブ会長	大桃 晃龍
旭川南ロータリークラブ会長	森 忠夫
根室西ロータリークラブ会長	宮野 洋志
網走西ロータリークラブ会長	田中 弘
旭川東北ロータリークラブ会長	藤原 貞雄
旭川空港ロータリークラブ会長	秋山 茂博



特別ご奉仕をいただいた方のご芳名

RI2500地区バストガバナー	秋永 智徳
釧路北ロータリークラブ会長	足立 功一
旭川南ロータリークラブ会長	森 忠夫
旭川南ロータリークラブ幹事	古里 一朗
旭川空港ロータリークラブ会長	秋山 茂博

ご来賓ご芳名 (敬称略)

国際ロータリー 第2500地区ガバナー 帯広市長 札幌ロータリークラブ会長 帯広市議会議長 NHK帯広放送局局長 HBC帯広放送局局長 STV帯広放送局局長 北海道新聞社帯広支社長 十勝毎日新聞社社長 帯広ライオンズクラブ会長 帯広中央ライオンズクラブ会長 音更ライオンズクラブ会長 帯広平原ライオンズクラブ会長 帯広かしわライオンズクラブ会長 帯広鈴蘭ライオンズクラブ会長 帯広さくらライオンズクラブ会長 国際ソロブチミスト帯広会長 国際ソロブチミスト帯広みどり会長 帯広市消防本部消防長 帯広市図書館長	牧野 了泰 砂川 敏文 松本 僚三 鈴木 孝昌 岩野 洋一 横川 清司 片岡 幹雄 熊坂 伸広 岡田 実 林 光繁 黒田 一秀 藤井 勇 大塚富士男 川島 健児 大野 孝之 鹿内 三好 青山象二郎 土谷 節子 阿部 房子 上野 裕子 水藤 恒彦 倉口 俊男	帯広商工会議所青年部顧問 全国商工会議所青年部連合会副会長 帯広商工会議所女性会会長 帯広商工会議所青年部会長 (社)日本青年会議所北海道地区協議会 道東ブロック直前会長 (社)帯広青年会議所直前理事長 谷脇 正人 (社)帯広青年会議所理事長 林 浩史 第2500地区パストガバナー 清水 幸彦 " 道下 俊一 " 秋永 智徳 " 黒田 一秀 " 長谷川晃三 " 七戸 幸夫 " 田中 弘・吉子夫人 " 奈良 尚久 " 矢坂 庸三 " 田村 昇市・幸枝夫人 " 坂本 一 " 田巻 明男・喜美子夫人 " 副島 正道 " 小船井修一	第2500地区パストガバナー 豊島 弘通 第2500地区ガバナーエレクト 合田 賢二・璃智子夫人 第2500地区ガバナー・ノミニー 小野 哲 第4分区ガバナー補佐 宮川 勝彦 第5分区ガバナー補佐 遠藤 隆二 第6分区ガバナー補佐 柴田 和明 第7分区ガバナー補佐 福井 克美 第8分区ガバナー補佐 関上 伸一 友好クラブ 京都東ロータリークラブ副会長 柄岡 道夫 第1分区稚内RC会長 大和 晃 第2分区美深RC会長 田辺登代二 " 下川IRC会長 山口 彰 第3分区富良野RC会長 小川 慎 " 旭川東RC会長 掛場 正 " 上川IRC会長 伊藤 隆 " 旭川モーニングRC会長 福居恵美子 第4分区紋別RC会長 中西 清美 " 紋別港RC会長 大桃 晃籠 " 中湧別RC会長 後藤 哲司 第5分区北見RC会長 永田 正記	第5分区網走RC会長 荒木 哲夫 第5分区留辺蘂RC会長 長谷川政司 " 北見東RC会長 庄司千栄志 " 美幌RC会長 馬場 義博 " 斜里RC会長 松本 鉄男 " 北見西RC会長 中西 三郎 第6分区帯広北RC会長 杉浦 壽 " 広尾RC会長 良知 義徳 " 芽室RC会長 岩田 昭夫 " 足寄RC会長 新沼 靖典 " 清水RC会長 久保 道雄 " 上士幌RC会長 中出 敏昭 " 帯広西RC会長 清水 宝掌 " 帯広東RC会長 佐藤 亘弘 " 帯広南RC会長 小林 千修 " 音更RC会長 川尻 隆志 第7分区釧路RC会長 久島 貞一 " 釧路南RC会長 長江 勉 第8分区弟子屈RC会長 小野 勝 " 别海RC会長 佐藤 佑輔 帯広ローターアクトクラブ会長 野原 哲 第2500地区米山奨学生 ドルジ・セルジ・ミカダク
---	---	---	---	---

会員登録者ご芳名

(2005年2月1日現在.敬称略・順不同 = 幹事)

第1分区	稚内RC	山口 義昭
	稚内南RC	大高 訓雄・越 政隆・坂野 泰雄・中居 詳往・松田 信夫
第2分区	美深RC	千葉 智・小野寺輝男
第3分区	富良野RC	渡部 秀雄
	旭川東RC	市田 敏行・守田 和平・大隅 卓也・八重樫和裕
	上川RC	鈴木 和雄・石井 誠士
	旭川モーニングRC	河崎高麗男・友重 正親・竹村 陽子
第4分区	紋別RC	石井 進司・伊藤 晴之
	紋別港RC	佐藤 宗晴・小林 正男・西川 雅文・天方 彦一・鶴見 隆宏
	中湧別RC	柴田ミチ子・渡辺 肇・北村 茂
第5分区	北見RC	佐藤 俊明・海田 司・服部 三郎・伊藤 正通・山下 友彰
	網走RC	水沢 博・舟山秀太郎
	留辺蘂RC	米村 喜和
	北見東RC	南 黙
	美幌RC	藤桜 弘躬・中山大三郎・田代 稔・工藤 了・高橋 守
	斜里RC	今井 秀樹・杉本 義明・小柳 嘉久・松本 任正
	北見西RC	眞壁 武・三浦 詔男
		田辺 康夫・岡花 茂・菊地 芳雄・佐々木 茂・大矢 吉敏
		菅野 栄二・高谷 智・横尾 賢一・益村 博文・渡辺 和勇
第6分区	帯広北RC	柴田 隆視・浅野 祐一・夷石 行夫・石原 智・石丸 進次
		石岡 幸雄・臼井 重丸・臼井 呉行・梅田 恵志・梅津 拓美
		上田 菊夫・遠田 憲宏・小田 良一・乙黒 季彦・小田桐 黙
		亀山 俊則・川上 清孝・河合 正満・北村 安正・木戸 辰浩
		京谷 瞳人・来海 有起・工藤 一則・斎藤 明男・佐川 政實
		佐々木昭則・佐藤 三幹・澤井 仁郎・鈴木 敏之・須藤 進
		瀬尾 昭男・関口 好文・関口 亘・反町 有孝・高木 章好
		高木 喜一・高田 二郎・高館 徳美・竹林 源一・辰馬 隆史
		千枝 克孝・梅安 秀樹・長岡 靖雄・西本 昇・根岸 勇隆
		長谷川皓次・花谷 光明・稗貫 秀次・船久保尚之・細川 吉博
		堀 稔・前田 修一・松田 孝志・松原 光一・松本 健春
		三輪 義明・溝井 伸二・溝口 昭雄・森 政成・森末 克彦
		矢戸 高尚・矢戸 雅英・弓山 充康・米谷 正三・米谷 正利
		横山 宏樹・吉田 清美・渡辺 一郎

会員登録者ご芳名

広尾RC	亀田 元教・石井 嘉穂・服部 裕四・橘 克弘・稻上 茂 魚井 郁生
芽室RC	谷口 和徳・川原 弘之・佐藤 達男・白川 孝夫・成田 慶一 新田 幹雄・正岡 明・松久 恭治・森本 常良・家内 裕典 横山 準一・安田 秀俊・清野 寿夫・ホップキンズエリック
足寄RC	高橋 秀樹・日景 健治・石川 熱・遠藤 総一・家常 尚詞 伊藤 徹・武藤 衛賢・川村 浩之・尾岸 徳雄・池田 裕次 塚田 隆一
北海道清水RC	若林 尚・谷口 文明・渋谷 孝・米田佳代子・八木 誓 小原 松雄
上士幌RC	樋渡 義章・川村 勝・菅原 昭二・佐藤 正彦・佐藤 昭彦 長屋 光男・鈴木 近彦・佐藤 佳邦・米倉 昌雄・宮内 隆 山本 裕吾・小島 徹
帯広西RC	中島 雄介・秋川 恵二・天野 清一・飯田 正行・石原 英樹 井上 昭次・茨木 雅敏・市川 靖雄・砂金 和敏・内海 仁司 海野 岩男・江口 文隆・太田 万也・大友 広明・大沢 剛 岡田 武稔・越智 孝佳・奥 敏則・奥田 賴昌・加藤 正秀 河合 健一・川上 哲平・川田 章博・河西 哲夫・神田 龍一 金尾 剛・清信 祐司・久保 忠正・黒澤 洋一・郷 清吉 小室 陸雄・小甲 哲士・近藤 誠勝・斎藤 允雄・斎藤 憲生 佐藤 聰・佐々木嘉晃・佐々木和彦・酒井 忠之・笹井 祐三 三野宮 功・澤田 忠雄・斎藤 正彦・鈴木 享・高木 克安 田中 利昭・高田 晃一・千葉 清孝・土肥 孝紀・豊田 洪道 中島 久司
	中村三寿男・中山 廣雄・林 文昭・尾藤 輝幸・日崎 清二 深澤 知博・古田 敦則・細川 周作・堀 修司・本田美喜男 宮野 永・村田 篤彦・森 賢伸・柳沢 一元・山田 薫 山田倫一郎・山本 範之・若林 剛
帯広東RC	関根 治朗・阿部 重之・泉 吉太郎・板倉 利男・石川 博機 伊藤 克美・今井 徹・上野 敏郎・金尾 浩幸・鎌田 利道 神田 光則・鎌田 勉・久保 議一・齊藤 蓮輝・酒井 啓次 杉山 昭彦・高橋 健蔵・西藤 亭・西田 重人・日置 清司 松田 悅範・馬渕 隆雄
帯広南RC	佐藤 和年・秋庭 良市・阿部 亘宏・伊藤 儀三・猪谷 幾雄 石野 崇則・岩橋 浩・内田 正志・加藤 正昭・切越 義孝 貴戸 雅則・工藤 史治・近藤 達夫・小柴 満・神津 莊平 白井 幸吉・白岩 征之・柴田 博美・進藤 鉄男・鈴木 恵子 高田 黙・田所 義国・徳井 裕昭・土井 清夫・仲村 晋

会員登録者

(2005年2月1日現在.敬称略・順不同 =幹事)

帯広南RC

野寺 正弘	萩原 一利	花房 政雄	浜名喜久雄	山崎 育子
脇坂 泰弘	清原三枝子	有城 正憲	澤田 一	
岡田 幸紀	矢戸 一男	猪子 茂昭	菊地 俊一	中村 武志
青木 正文	高倉 功和	作田 和昌	牛来 正男	黒川 吉一
畠山 誠一	西田 康稔	谷口 善一		

音更RC

野寺 正弘	萩原 一利	花房 政雄	浜名喜久雄	山崎 育子
脇坂 泰弘	清原三枝子	有城 正憲	澤田 一	
岡田 幸紀	矢戸 一男	猪子 茂昭	菊地 俊一	中村 武志
青木 正文	高倉 功和	作田 和昌	牛来 正男	黒川 吉一
畠山 誠一	西田 康稔	谷口 善一		

第7分区 銚路RC

○浅野 洋	羽生 武喜	伊貝 正志	石田 博司	日向 正明
小川 一典	川合 隆俊	佐藤 茂良	関向 一	武石 光樹
田中 武司	西村 智久	花輪 隆一	藤井 正信	矢澤 武彦
吉田 潤司	吉田 秀俊	浅川 了一	青田 敏治	大山 葉子

第8分区 弟子屈RC

別海RC

関 義宜	嶋田 稔	小家山 勝	林 隆雄
小山内軍蔵	田保 秀治	松隈 昭敏	神田 八光
		神田 篠原	秋彦

帯広ローターアクトクラブ

後藤 芳子	小野 律子	荒川 之也	岡崎 早智	高野 朋洋
佐藤 麻衣	安藤 圭子			

帯広RC

会長 合田 修

幹事 加藤 維利	安達 巍	青山 伎市	秋元 和夫	石原由美子
井上 洋一	大須賀良明	大滝 欽也	大滝 信臣	奥 周盛
奥原 宏	小田 剛	小倉 豊	小澤 昌博	大江 徹
梶原 雅仁	片所 幸一	加藤 一夫	加藤 孝行	神谷 昭典
川上 勝久	片桐 幾子	門田潤一郎	川田 晴巳	菅野 伴睦
金子健太郎	木村 卓洋	木村 裕氏	國枝 干秋	国枝 宏有
国島 直幸	熊木 喬	工藤 大輔	小西 保男	小沼 龍一
小白 智志	小枝美奈子	小部 敏一	合田 倫佳	後藤 裕弘
後藤 健二	佐藤 有宏	佐藤 真康	酒井 敬司	桜場 新一
讚岐 武史	柴田 敏男	清水 茂彰	清水 宣孝	白石 俊之
進藤 恒彦	神 俊明	鈴木 樹	鈴木 直義	曾我 彰夫
高橋 勝坦	高橋 猛文	高橋 忠雄	高橋 標	竹川 博之
橋 精三	田中 一郎	田村 康人	田守 由宗	田端 祥信
立森 成芳	高原 淳	塚井 敏昭	梅安 雅満	薦井 秀則
田 和夫	外崎 裕康	内木 泰永	中西 祐治	中田 知徳
中田 隆三	西佐古 求	新田 潔	野田 賢一	野村 一仁
野村 文吾	林 博道	平原 隆	藤田 博士	藤本 長章

会員登録者

帯広RC

藤森 照雄・星屋 洋樹・真鍋 智紀・松島 隆・丸山 謙一
道 吉見・宮坂 寿文・三浦 吉隆・森 武夫・矢野 治夫
山岡 淑朗・山上 和則・山下 英世・大和 昭一・遊塚 直樹
和田 賢二・渡辺喜代美・渡部 徹夫

帯広RC夫人

合田真喜子・加藤 陽子・青山 紀子・大滝 満子・大滝 栄子
奥原 知子・大江 路可・梶原 智絵・加藤 和江・神谷 光子
川上 侑子・国枝 愛子・熊木なぎさ・工藤 美佐・合田由紀子
後藤久美子・佐藤みつ子・酒井 桂子・白石二美子・進藤 亘子
鈴木 禮子・高橋しづ子・高橋加寿子・高橋納生子・高橋 厚子
竹川理恵子・田守登起子・立森 慈子・梅安美智子・内木 博美
野村由美子・林 充子・星屋万恵子・真鍋 満子・森 美津枝
矢野 靖子

帯広5RC事務局

星屋千代子・鈴木 信子

創立70周年記念実行委員会組織表

帯広ロータリークラブ創立70周年記念実行委員会

帯広ロータリークラブ会長：合田 修
 帯広ロータリークラブ幹事：加藤 維利
 70周年実行委員長：鈴木 樹
 70周年実行副委員長：川上 勝久
 70周年実行副委員長：高橋 勝坦

期日：2005年3月6日(日)

場所：とかちプラザレインボーホール
 ホテルノースランド帯広

印は所属委員会の相談役

相談役	田中 弘 高橋 忠雄 大滝 信臣 加藤 一夫 進藤 恒彦 田村 昇市 藤森 照雄 高橋 標 大須賀良明 柴田 敏男 矢野 治夫 白石 俊之 林 光繁 真鍋 智紀		
委員会名 委員長 副委員長 委 員			
総務委員会	清水 茂彰	奥原 宏 梶原 雅仁	高橋 標 真鍋智紀 山下 英世 中田 知徳 塚井 敏昭 渡部 徹夫 桜場 新一
登録・接遇委員会	星屋 洋樹	曾我 彰夫 石原由美子 片桐 幾子	加藤一夫 藤森照雄 大滝 欽也 橋 精三 安達 巖 道 吉見 小西 保男 内木 泰永 田村 康人 佐藤 有宏 宮坂 寿文 国島 直幸 神谷 昭典 中西 祐治 菅野 伴睦 鈴木 直義 立森 成芳 田守 由宗 讃岐 武史 蔦井 秀則 田端 祥信 三浦 吉隆 金子健太郎
記念式典委員会	大和 昭一	藤本 長章 國枝 千秋 渡辺喜代美	田村昇市 白石俊之 清水 宣孝 土田 和夫 後藤 裕弘 梅安 雅満 神 俊明 木村 卓洋 横川 清司 川田 晴巳 熊木 喬 岡田 実
祝賀委員会	和田 賢二	木村 裕氏 小田 剛 小枝美奈子	矢野治夫 小白 智志 新田 潔 松島 隆 小部 敏一 門田潤一郎 山上 和則 野田 賢一 外崎 裕康 小澤 冒博 合田 優佳 秋元 和夫 藤田 博士 丸山 謙一 野村 文吾 工藤 大輔 加藤 孝行 遊塚 直樹
記念事業委員会	高橋 猛文	中田 隆三	大須賀良明 西佐古 求 小倉 豊
記念誌委員会	奥 周盛	国枝 宏有 井上 洋一	田中 弘 小沼 龍一 林 博道 田中 一郎 佐藤 真康 平原 隆 高原 淳
救護委員会	進藤 恒彦	酒井 敬司	大滝信臣 大江 徹
財務会計委員会	竹川 博之	野村 一仁	青山 俊市
S A A	片所 幸一	山岡 淑朗 後藤 健二	高橋忠雄 柴田敏男
会計監査	林 光繁	森 武夫	

(順不同・敬称略)